

あんな
いいな
秋田県

森と木の国 あきた
木造施設事例集

(平成14年度～平成29年度)



秋田県農林水産部

木造施設事例一覧表

(平成14年度～平成29年度)

■学校・保育園・教育関係施設

番号	施設名	所在地	用途
①	大館市立第一中学校	大館市北神明町10番1号	中学校
②	能代市立第四小学校	能代市字藤山3番地	小学校
③	能代市立二ツ井小学校	能代市二ツ井町字上台25番1号	小学校
④	秋田市立山王中学校 部室棟	秋田市山王三丁目1番24号	中学校
⑤	秋田市立秋田東中学校 部室棟	秋田市手形休下町10番51号	中学校

■集会・交流施設

番号	施設名	所在地	用途
①	藤倉自治会館	鹿角郡小坂町小坂字山崎2番地129	集会施設
②	古苦竹自治会館	鹿角郡小坂町小坂字横道14番地3	集会施設
③	八竜多目的交流施設 ゆめすた	山本郡三種町鶴川字西本田10番	交流施設
④	秋田市雄和左手子山村交流センター	秋田市雄和左手子字清水下43番地3	交流施設
⑤	秋田市雄和山村交流センター	秋田市雄和碓田字梵天野27番地7	交流施設
⑥	下開交流館	横手市雄物川町薄井字下開330番	交流施設
⑦	十五野交流館	横手市平鹿町浅舞字十五野南93番4号	交流施設
⑧	湯沢市ふるさとふれあいセンター	湯沢市岩崎字寝連沢9番4号	交流施設
⑨	羽後町明治交流館(かしわ館)	雄勝郡羽後町新町字新町176番地	交流施設
⑩	ウッディホールこだま 新館きすな	由利本荘市館字中島372番地	交流施設

■福祉・医療施設

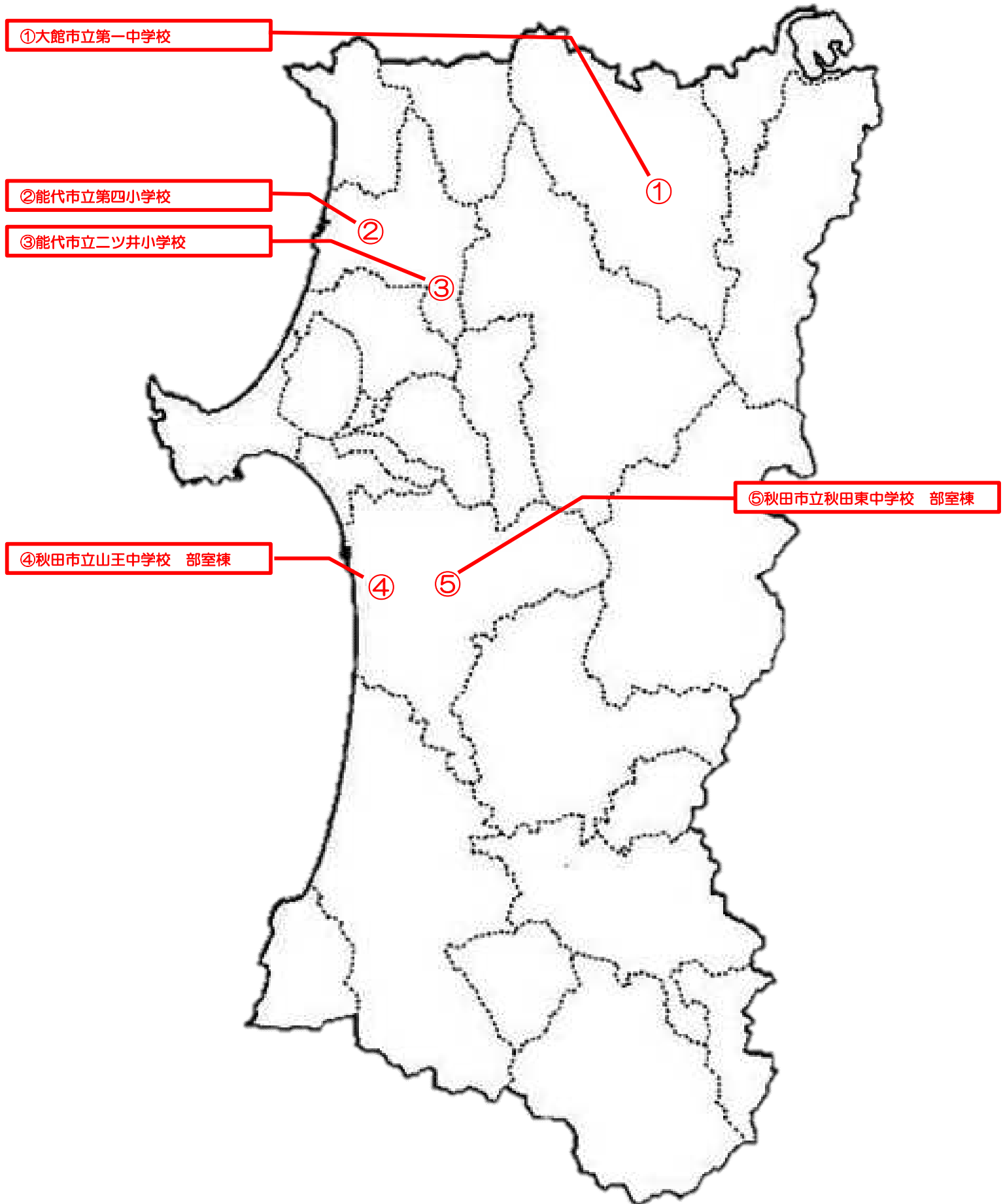
番号	施設名	所在地	用途
①	特別養護老人ホーム青山荘	北秋田市綴子	福祉施設
②	社会福祉法人正和会 「啄木鳥」	湯上市天王字棒沼台247番地1	福祉施設
③	武道島いとうクリニック	にかほ市象潟町字家ノ後65-10	医療施設
④	デイサービスわかば武道島	にかほ市象潟町字家ノ後65-26	福祉施設
⑤	いきいきASOKO	由利本荘市大鋸町160-1	福祉施設
⑥	たんぼぼプラザ	由利本荘市岩城赤平字長ヶ沢18番地1	福祉施設
⑦	ウッディいのおか	横手市猪岡字猪岡154番地	福祉施設

■その他

番号	施設名	所在地	用途
①	白神山地 森のえき	山本郡藤里町藤琴字里栗	農産物販売所
②	由利本荘市岩谷児童館	由利本荘市岩谷町字田ノ尻106-1	児童会館
③	強首地区多目的研修施設	大仙市強首字上野台地内	研修施設
④	ふれあい交流館	大仙市太田町惣行小坂47	体育館
⑤	秋田空港ターミナルビル	秋田市雄和椿川字山籠49	空港施設
⑥	秋田駅西口バスターミナル	秋田市中通2丁目7番地内	バス待合所
⑦	前郷ふれあいステーション	由利本荘市前郷字家岸68	駅舎
⑧	由利本荘市コミュニティ体育館	由利本荘市美倉町30番地	体育館
⑨	秋田県庁正庁	秋田市山王4丁目1-1	講堂
⑩	にかほ市観光拠点センター 「にかほっと」	にかほ市象潟町字大塩越36番地1	観光センター
⑪	タマホーム(株)秋田支店 「木っずすぺ〜す」	秋田市御所野堤台1-1-3	木育スペース
⑫	田沢湖クニマス未来館	仙北市田沢湖潟字ヨテコ沢4	資料館

木造施設事例位置図

■学校・保育園・教育関係施設



① 大館市立第一中学校

施設概要

事業主体：大館市

施設名称：大館市立第一中学校第二体育館

所在地：大館市北神明町10番1号

施設用途：中学校

用途地域：第1種中高層居住専用地域

防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



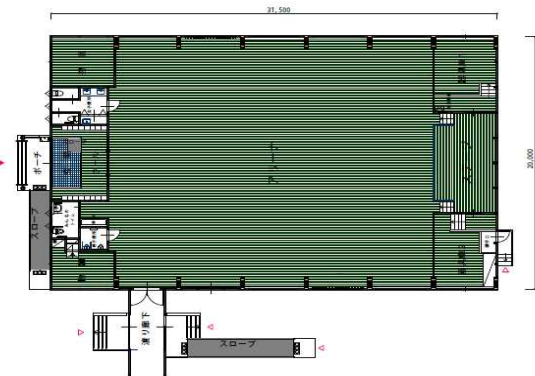
●施設の特徴、内容について

木材は、やわらかな感触、高い吸湿性等の優れた性質から、あたたかみと潤いある教育環境づくりを進める上で大きな効果が期待できる。併せて木造建築により、地域の木造技術を継承する機会を提供し、地球環境の保全、地場産業の活性化などの意義や効果を期待できるものである。

また、施設を一般に開放することで住宅への地場木材製品の利用促進を図る施設としている。

●配置計画について

既存校舎との間に屋外運動場への通り抜け通路の確保と、東側に位置する市道に落雪のないように配置計画を考慮し、また、夏場の暑さ対策として通風をよくするために東西面に対象に開口部を設けられるよう配置した。



■建物情報

階数：地上1階
構造：木造
小屋組方式：大断面集成材ラーメン構造
敷地面積：40,840.00 m²
建築面積：669.54 m²
延床面積：647.08 m²
最高高さ：9.96 m
最高軒高：6.25 m
最大スパン：20.00 m
耐火・準耐火：準耐火

■主要仕上

外部仕上

(屋根) 長尺カラーGL鋼板 t=0.40mm
(外壁) GL鋼板金属サイディングフッ素樹脂塗装 t=15mm
(開口部) アルミ樹脂サッシ、アルミフロントサッシ
(その他)

内部仕上

(床) 複合フローリング t=15mm
(壁) 秋田スギ 小幅板張 t=12mm クリアラッカー
(天井) ロックウール化粧吸音板
(その他) 腰壁：スギ小幅板張 t=12mm クリアラッカー

●木材使用について

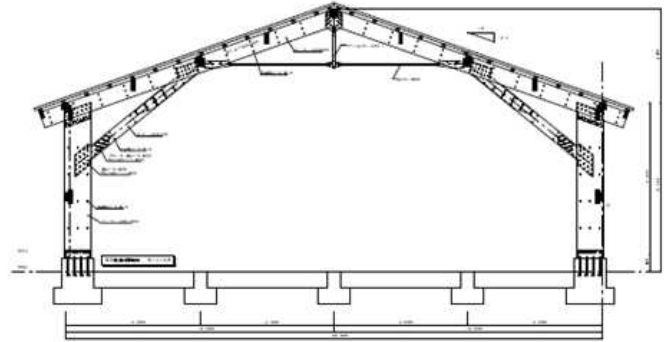
第一中学校第二体育館の改築は、「大館市木材利用基本方針」に基づき、公共建築物の木造化及び内装木質化を推進するために、主要構造材に地元で加工されたスギ大断面集成材を使用し、その他構造材及び内装材にも木材を最大限使用している。



大断面集成材（柱、梁、方杖）

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	171.5 m ³	171.5 m ³	
マツ	8.1 m ³	m ³	
広葉樹	9.7 m ³	6.0 m ³	
その他	m ³	m ³	
計	189.3 m ³	177.5 m ³	



大断面集成材と鋼材のハイブリッド構造

●設計における工夫点等について

当地は寒冷地であるため冬場の対策に一層の配慮が必要なため、屋根の断熱化と壁特に開口部に断熱サッシを使用し、ガラスも複層ガラスを使って断熱化を計った。

断熱サッシの
複層ガラス



●その他（特筆される事項）

窓が高い位置にあるため、フロアから操作出来る手動開閉オペレータを設置した。

手動開閉オペレータ

操作状況



■事業概要

事業内容：木造施設整備
 発注者：大館市教育委員会
 設計者：設計チームおおだて設計共同体
 施工者：（建築）花岡土建株式会社
 ：（電気）羽後電設工業株式会社大館営業所
 ：（機械）熊谷施設工業株式会社大館営業所
 木材供給：（スギ集成材）秋田グルーラム株式会社
 ほか
 （フローリング）矢島木材乾燥株式会社
 ほか
 （その他）秋田プライウッド株式会社 ほか

事業名：秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業
 工期：平成24年10月～平成25年 3月
 設計費：4,573千円
 建設費：（建築）113,208千円
 ：（電気）10,966千円
 ：（機械）7,749千円
 ：（合計）131,923千円
 1m²当たり建設費：203千円

② 能代市立第四小学校

施設概要

事業主体：能代市

施設名称：能代市立第四小学校

所在地：能代市字藤山3番地

施設用途：小学校

用途地域：第2種中高層住居専用地域

防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

校舎は、旧校舎の①3つの切妻屋根、②下見板張りの外壁、③白壁の外壁、④校舎棟同士を結ぶ渡り廊下の形態を継承しつつ、板張りのピッチを細かくするなど現代的なデザイン要素を取り入れた外観となっています。

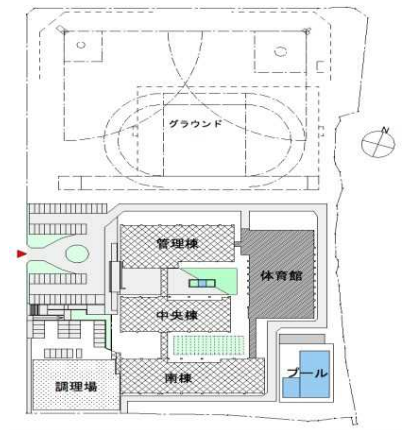
体育館は、28mスパンの大空間を有し、より明るく開放的にするため、屋根架構を細かく軽やかにする工夫をしながら、窓面を広くして自然採光、自然換気を多く確保した空間となっています。

●配置計画について

敷地に対して、校舎は3棟に分棟配置し、全ての棟を南向きとして自然採光に努めました。

校舎の棟間にはそれぞれ特徴的な中庭を配置し、中庭を介して、東側に体育館、プールを配置しています。

また、敷地の約半分をグラウンドとして確保し、これに面して体育館、南に隣接して日照条件の良い位置にプールと、スポーツゾーンを一体的に整備を行い、連動して活発で充実したスポーツ活動ができる配置としています。



■建物情報

階数：校舎 地上2階・体育館 地上1階
構造：校舎 木造・体育館 木造一部RC造
小屋組方式：和小屋を基本、吹抜部は登り梁、トラス
敷地面積：32,565m²
建築面積：校舎 3,565m²・体育館 1,519m²
延床面積：校舎 6,298m²・体育館 1,519m²
最高高さ：校舎 10.9m・体育館 12.4m
最高軒高：校舎 7.45m・体育館 8.79m
最大スパン：校舎 9.10m・体育館 28.21m
耐火・準耐火：準耐火

■主要仕上

外部仕上
(屋根) 校舎：ガルバリウム鋼板段葺
体育館：ガルバリウム鋼板嵌合式縦葺
(外壁) 校舎：(腰部) 杉板よろい張+塗装
体育館：杉板横張
(開口部) 校舎：樹脂複合断熱サッシ
体育館：アルミサッシ 外
(その他)
内部仕上
(床) 校舎：複合フローリング 外
体育館：複合フローリング 外
(壁) 校舎：杉板張り(目透し)
体育館：杉難燃化粧合板 外
(天井) 校舎：化粧石膏ボード
体育館：化粧吸音石膏ボード 外
(その他)

●木材使用について

二ツ井小学校と同時期の建設となり、使用木材を確保するため、基本・実施設計完了時点での資料を市のホームページにより、その情報を公開を行い、使用量確保に努めた。

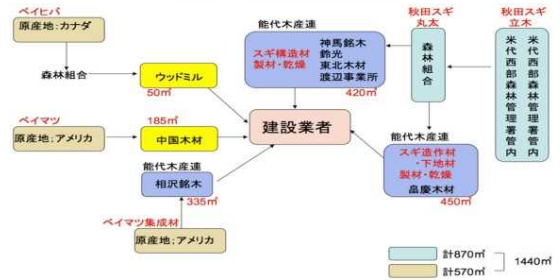
また、構造計画にあたっては、これまでの建設での問題点やコスト縮減等を踏まえ、柱材については、4.5寸角を基本使用することとするなど検討・実施を行った。



【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	1,104.5 m ³	1,104.5 m ³	
マツ	603.5 m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	57.2 m ³	m ³	
計	1,765.2 m ³	1,104.5 m ³	

第四小学校木材納入経路



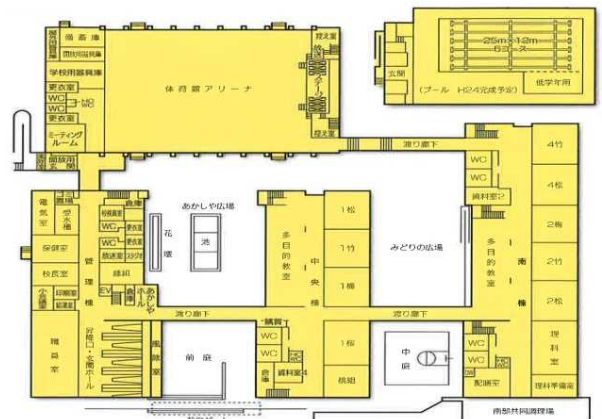
●設計における工夫点等について

低層・分棟形式とし、建物高さを抑え、水平ラインを強調した広がりあるのびやかな外観としている。

延べ9,000m²余りの建築群は、1棟2,000m²ごとに渡り廊下で分割し、さらに各棟を1,000m²ごとに防火壁で区画している。

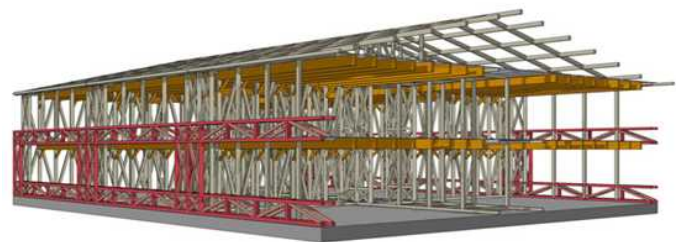
平行配置した校舎間には、池を中心とした「あかしや広場」や菜園で構成された「みどりの広場」といった特徴ある中庭を構成することで、緑に囲まれた落ち着いた学習環境を形成している。

内部環境は、木材の色彩・材質感と白壁が調和し、ゆったりと広く明るい落ち着いた雰囲気としている。渡り廊下全面ガラスのカーテンウォールは木製サッシを使用した。



●その他（特筆される事項）

在来木造工法大型建築で問題となる筋交いの窓面露出を無くすため、外壁二重フレームや方杖ラーメンを効果的に用いることにより、筋交いの無い横連窓を実現した。



■事業概要

事業内容：木造施設整備、内装木質化整備

発注者：能代市

設計者：設計チーム 木 協同組合

施工者：
 (校舎・建築主体) 中田・サンワ・大森JV
 (校舎・木製建具) 能代建具団地協
 (校舎・高圧受変電設備) 保坂電気工事(株)
 (校舎・電気設備) 石井・工藤JV
 (校舎・給排水衛生設備) 樹協立
 (校舎・冷暖房空調設備) 備前玉水道ガス工業所
 (体育館・建築主体) 大森・安藤・大高JV
 (体育館・内装木質化) 秋田建具工業協
 (体育館・内部木製建具) 秋田建具工業協
 (体育館・電気設備) 能代電設工業(株)
 (体育館・機械設備) 樹柴田ボイラ工業
 (ベイツ集成材)：能代木産連(相澤銘木)
 (スギ一般材) 能代木産連
 (フローリング) 藤島林産、矢島木材乾燥(株)
 (原木供給) 米代西部森林管理署
 および米代東部森林管理署管内より
 秋田県森林組合連合

事業名：森林・林業・木材産業交付金

工期：平成20年

設計費：55,536千円

建設費：(校舎) 1,310,219千円

：(体育館) 375,850千円

1m²当たり：(校舎) 約208千円

建設費：(体育館) 約247千円

③ 能代市立二ツ井小学校

施設概要

事業主体：能代市

施設名称：能代市立二ツ井小学校

所在地：能代市二ツ井町字上台25番1号

施設用途：小学校

用途地域：第1種中高層住居専用地域

防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

特徴としては、木都 能代市二ツ井に相応しい、学童とまちなみを創造し、地域交流を図りながら、地場材と地元職人による「循環型地域社会の構築」をテーマに掲げている。内容については、学校施設では珍しい地域と交流できる「交流広場」があります。また、秋田スギで太い柱や梁を木組みで魅せる伝統構法で造り、世界に誇る「匠の技」の伝承にも考慮しています。とにかく、真壁工法なので秋田杉の迫力が伝わります。体育館等は、将来に向けた「大型木造建造物」の促進に配慮して、国内では小学校として第一号の集成材による大臣認定の耐火建築物で造っています。

●配置計画について

敷地の中心に校舎等を配置し、西側に共同調理場、東側に体育館、南側にプールを配置しています。

校舎は、管理棟、教室棟、特別教室棟で構成され、全ての棟が片廊下式の南向き教室なのでより明るくなるように配置しました。

体育館の大スパン構造を軸力系の構造である立体トラス(3Dトラス)を用いることで、屋根の軽量化を図っています。また、特に統合小学校(元々は10校)でスクールバス通学が多いために、バス停と遊び場を隣接させた登下校方式を計画しています。



■建物情報

階数：校舎 地上2階・体育館 地上1階
構造：校舎 木造・体育館 木造一部RC造

小屋組方式：(校舎) 折置き組(和小屋)

敷地面積：37,688m²

建築面積：校舎 3,295m²・体育館 1,627m²

延床面積：校舎 5,100m²・体育館 1,461m²

最高高さ：校舎 10.64m・体育館 15.30m

最高軒高：校舎 7.85m・体育館 9.70m

最大スパン：校舎 9.09m・体育館 28.00m

耐火・準耐火：準耐火

■主要仕上

外部仕上

(屋根) 校舎：長尺ガルパルリューム鋼板横葺 外

体育館：ガルパルリューム鋼板嵌合式縦葺長尺ガルパルリューム鋼板立平葺

(外壁) 校舎：(腰部) 杉下見板張

体育館：(腰部) 杉下見板張

(開口部) 校舎：断熱樹脂サッシ 外

体育館：アルミサッシ

(その他)

内部仕上

(床) 校舎：複合フローリング 外

体育館：複合フローリング 外

(壁) 校舎：(腰部) 杉板横張

体育館：(腰部) 杉板横張

(天井) 校舎：化粧石膏ボード 外

体育館：化粧石膏ボード 外

(その他)

●木材使用について

第四小学校と同時期の建設となり、使用木材を確保するため、基本・実施設計完了時点での資料を市のホームページにより、その情報の公開を行い、使用量確保に努めました。

木材は、なるべくスギの無垢材を使うようにし、また、可能な限り地場材を使ったスギ集成材の使用に配慮しました。

また、構造計画にあたっては、コスト縮減等を踏まえ、階高の低減や一般流通材を基本使用することとするなど検討・実施を行いました。

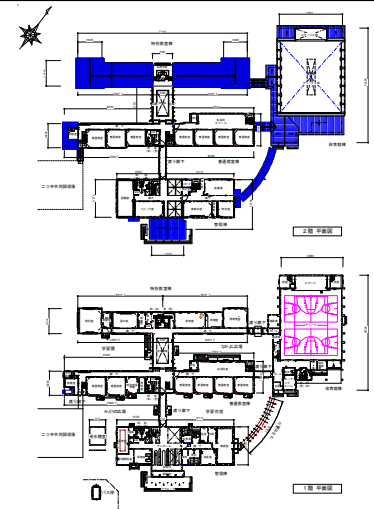
【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	1,219.0 m ³	1,093.9 m ³	
米マツ	313.1 m ³	m ³	
広葉樹	34.3 m ³	m ³	
その他	48.9 m ³	m ³	
計	1,615.3 m ³	1,093.9 m ³	



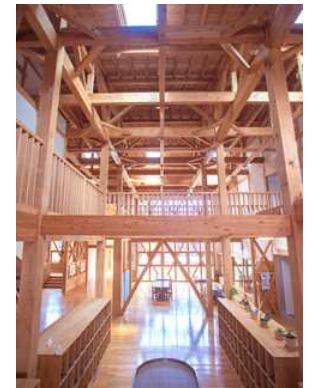
●設計における工夫点等について

まちなみ風景を考慮して敷地周辺に圧迫感を与えないように隣地周辺は低層としました。全体外観デザインは、シンプルに切妻屋根と天秤梁方式を妻面に表し、周辺建物群の風景に溶込むよう突出することのない全体デザインにまとめました。この小学校は、将来に向けたまちづくりの拠点となるように位置づけて、それぞれの各棟の色やデザイン、そして配置や形状を少しずつ変化させて「一つの集落」をイメージしている。中庭は広く冬の日照にも配慮しながら、また、窓を多く配置し先人の智慧である天窗と地窓を設えて自然風を取り入れるなどして自然エネルギー活用に十分取りくみました。



●その他（特筆される事項）

建築工法を「過去型（伝統構法）－現在型（現代型在来工法）－未来型（木造耐火建築物）」で歴史のように表現、また、木材の樹種（針葉樹や広葉樹）を8種類や曲り木を使うなどして、小さい頃から、山や木の種類そして木造建築を通して、循環型地球環境を学べ誇れる小学校を思いながら設計に取り組んだ。「温故知新」のごとく未来を創造した学校創りを目指しました。



■事業概要

事業内容：木造施設整備、内装木質化整備

発注者：能代市

設計者：設計集団 環 協同組合

施工者：(校舎・建築主体) 大高・安藤・高田JV
 (校舎・木製建具) 秋田杉建具製作館
 (校舎・高圧受変電設備) 石井・東北武田JV
 (校舎・電気設備) 姉帯・能代電設JV
 (校舎・給排水衛生設備) 協立・田中JV
 (校舎・冷暖房空調設備) 柴田・成金・佐藤燃料JV
 (体育館・建築主体) 大森・サンワ・高田JV
 (体育館・内装木質化) 菊池工務店
 (体育館・内部木製建具) 秋田建具工業館
 (体育館・電気設備) 保坂・ソウシンJV
 (体育館・機械設備) 柴田・成金・佐藤燃料JV

木材供給

(スギ集成材) 相沢銘木㈱
 (スギ一般材) 備ハウスパートナー平川
 備くどうはじめ材木店
 備渡辺事業所 外
 : (フローリング) 藤島林産、矢島木材乾燥㈱
 (その他) 三浦材木店・あきたの材木屋
 備佐藤銘木・瀬川銘木㈱
 昌慶木材 外
 (原木供給) 備秋田県北木材センター 外

事業名：森林・林業・木材産業交付金

工期：平成20年

設計費：49,980千円
 建設費：(校舎) 1,110,770千円
 (体育館) 383,349千円
 1m²当たり建設費：(校舎) 約216千円
 (体育館) 約262千円

④ 秋田市立山王中学校 部室棟

施設概要

事業主体：秋田市

施設名称：部室

所在地：秋田市山王三丁目1番24号

施設用途：中学校

用途地域：第1種住居区域

防火地域：準防火地域

【外観写真】

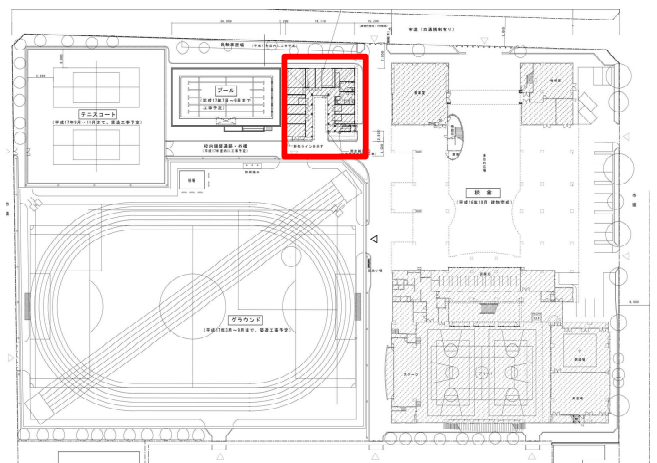


●施設の特徴、内容について

学校内周辺施設の木造化により、木の香りとぬくもりを生かした教育環境の充実を図るとともに、都市部における建物の木造化についてPRしている。

●配置計画について

建て替えにあたり、旧部室は解体して同じ敷地内に新しく建設しました。



■建物情報

階数：地上2階
構造：木造
小屋組方式：在来工法
敷地面積：18,705m²
建築面積：299m²
延床面積：464m²
最高高さ：8.5m
最高軒高：5.7m

■主要仕上

外部仕上
(屋根) ガルバリウムカラー鋼板 t=0.4mm
(外壁) スギ板 t=15mm 横貼り、木材保護塗料塗装
(開口部) 住宅用半外付けアルミサッシ
内部仕上
(床) スギ板 t=30mm 木材保護塗料
(壁) スギ板 t=12mm 木材保護塗料
(天井) スギ板 t=9mm 木材保護塗料

●木材使用について

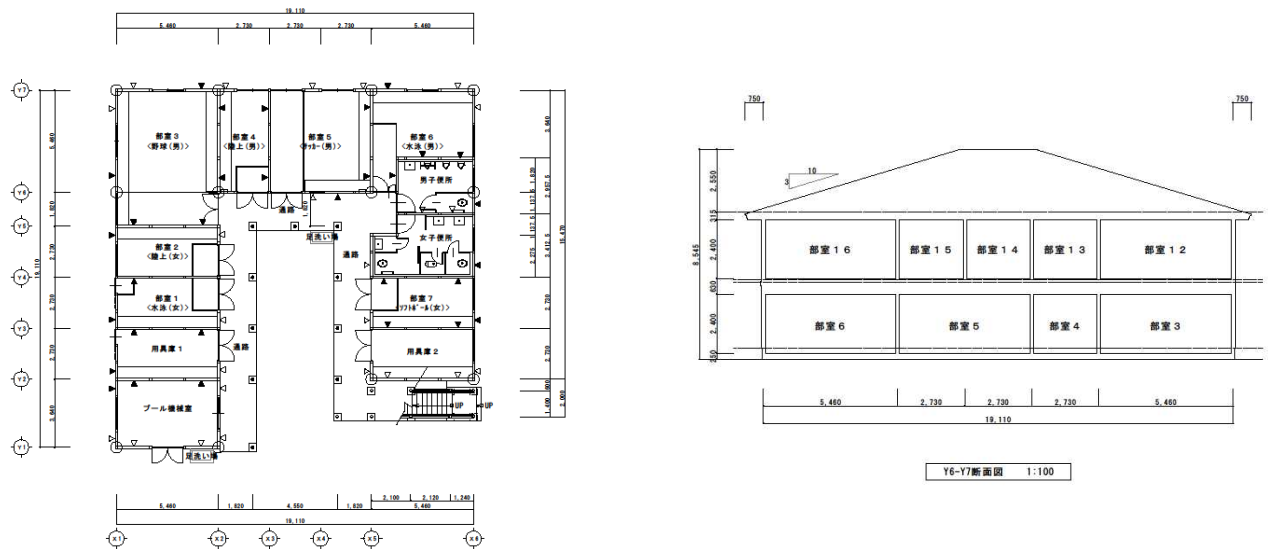
木材は全て県内産のものを使用した。



【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	145.96 m ³	145.96 m ³	
マツ	22.15 m ³	22.15 m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	m ³	m ³	
計	168.11 m ³	168.11 m ³	

●平面図・立面図



■事業概要

事業内容：学校周辺施設整備事業

発注者：秋田市教育委員会

事業名：地域材利用学校関連施設整備事業

工期：平成17年5月～平成17年8月

施工者：（建設）加藤建設株式会社

：（電気）東北物産株式会社

：（機械）畑改工業株式会社

建設費：（建設）66,780千円

：（電気）5,250千円

：（機械）3,423千円

木材供給：（スギ製材）(株)ウッド・ミル 秋田パネル(株)ほか

（カラマツ製材）(株)ウッド・ミル 秋田パネル(株)ほか

（スギ集成材）秋田パネル(株) 秋田木材(株)

（カラマツ集成材）秋田県木材防腐加工協同組合

（スギ合板）アイプライ(株)

：（合計）75,453千円

1m²当たり建設費：252千円

⑤ 秋田市立秋田東中学校 部室棟

施設概要

事業主体：秋田市

施設名称：部室

所在地：秋田市手形休下町10番51号

施設用途：中学校

用途地域：第1種中高層住居区域

防火地域：一

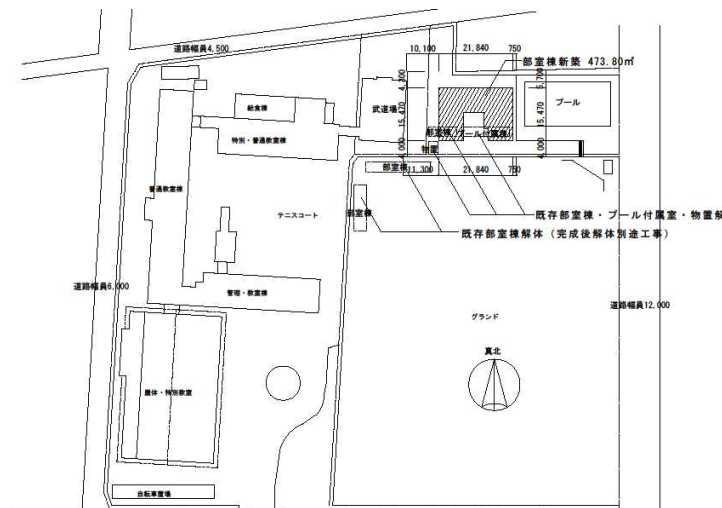
【外観写真】



●施設の特徴、内容について

学校内周辺施設の木造化により、木の香りとぬくもりを生かした教育環境の充実を図るとともに、都市部における建物の木造化についてPRします。

●配置計画について



■建物情報

階数：地上2階
構造：木造
小屋組方式：在来工法
敷地面積：18,705m²
建築面積：285m²
延床面積：474m²
最高高さ：8.7m
最高軒高：5.4m

■主要仕上

外部仕上
(屋根) ガルバリウムカラー鋼板 t=0.4mm
(外壁) スギ板 t=15mm 横貼り、木材保護塗料塗装
(開口部) 住宅用半外付けアルミサッシ

内部仕上
(床) スギ板 t=30mm 木材保護塗装
(壁) スギ板 t=12mm 木材保護塗装
(天井) スギ板 t=9mm 木材保護塗装

●木材使用について

【使用木材量】

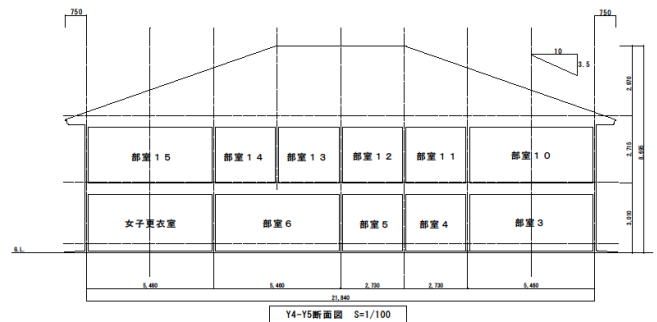
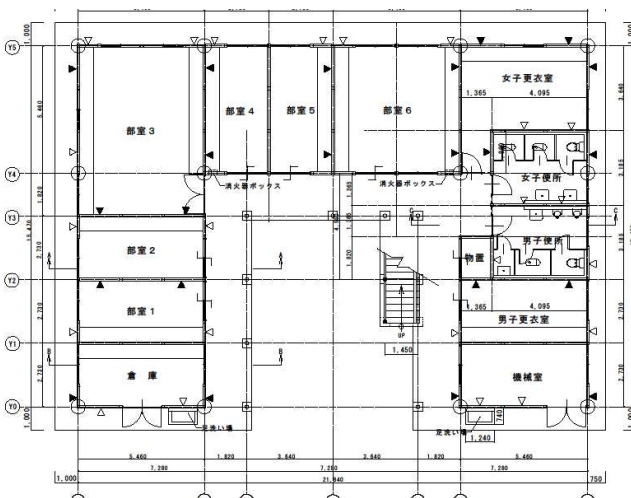
樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	m3	m3	
マツ	m3	m3	
広葉樹	m3	m3	
その他	m3	m3	
計	m3	m3	



部室内部



●平面図・立面図



■事業概要

事業内容：学校周辺施設整備事業
発注者：秋田市教育委員会

事業名：地域材利用学校関連施設整備事業
工期：平成14年8月～平成14年12月

施工者：(建設) 石川・藤重建設工事共同企業体
 (電気) 有限会社サカエ電気工事
 (機械) 有限会社黒崎施設

建設費：(建設) 76,125千円
 (電気) 4,988千円
 (機械) 7,014千円
 (合計) 88,127千円

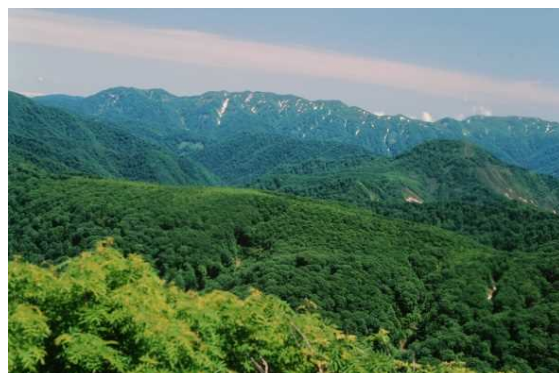
木材供給：

1m²当たり建設費：309千円

トピック1 森と木の国あきた

① 世界遺産登録 白神山地

白神山地は、秋田県北西部、青森県南西部の県境にまたがる広大な山岳地帯の総称です。ここには、世界最大級の原生的なブナの自然林が残されており、多種多様な植物群落が見られ、ブナ林を基盤とする豊かな植物群落が生息するなど多様な生態系が掲載されており、1993年（平成5年）12月11日に世界遺産に登録されました。



② 日本三大美林 秋田杉

日本三大美林の一つである天然秋田杉は、特に秋田県の北部を流れる米代川流域に分布しています。標準的樹齢は200～250年といわれています。

■天然秋田杉の特性

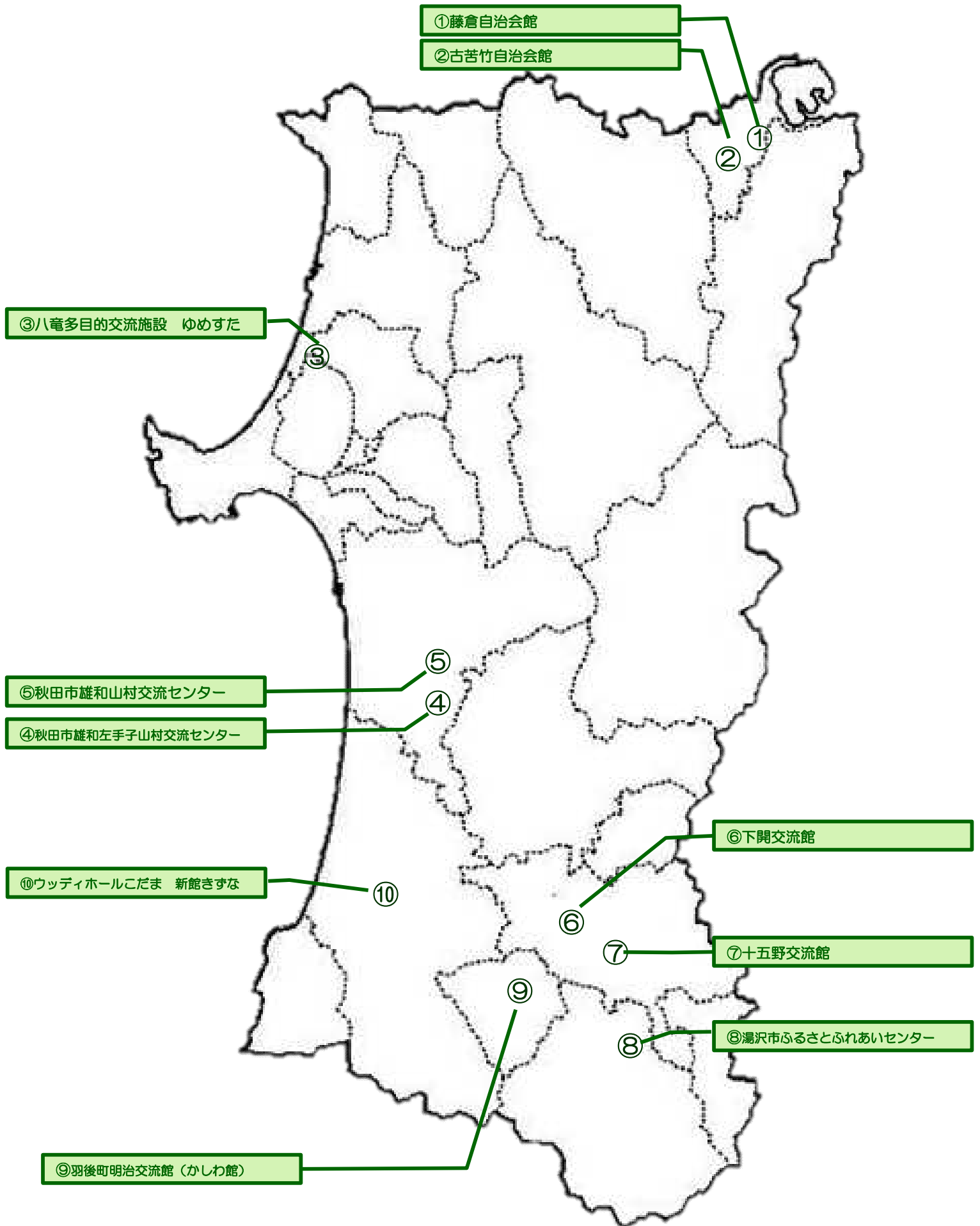
天然秋田杉は、年輪幅がそろい、木目が細かく強度に優れ、狂いが少ないことから、古くから住宅用の建築材として利用され、特に美しい柾目を利用した高級内装材、天井板等に使用されています。

また、古くから「曲げわっぱ」や「桶・樽」などの伝統工芸品の原材料として利用されています。



木造施設事例位置図

■集会・交流施設



① 藤倉自治会館

施設概要

事業主体：小坂町

施設名称：藤倉自治会館

所在地：鹿角郡小坂町小坂字山崎2番地129

施設用途：集会場

用途地域：第1種住居専用区域

防火地域：法第22条指定地域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

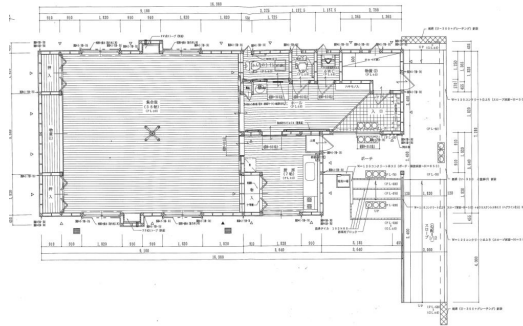
小坂町では、地域のコミュニティ活動の推進を目的に自治会館の建設を進めています。

【施設の特徴】

外壁の一部には県産のスギ、フローリングには町に多く自生するアカシアを使用しています。
秋田県バリアフリー社会の形成に関する条例に基づいた設計となっています。
内装仕上げ等化学物質対策に応じた設備としています。

●配置計画について

地域の要望に応じ、外観、集会室・厨房等の配置を決定しました。



■建物情報

階数：地上1階

構造：木造

小屋組方式：木造軸組工法

敷地面積：1,069.50m²

建築面積：113.44m²

延床面積：106.82m²

最高高さ：4.85m

最高軒高：3.90m

最大スパン：3.64m

耐火・準耐火：その他建築物

■主要仕上

外部仕上

(屋根) ガルバリウムカラー鋼板

(外壁) スギ板 t=18mm、防火サイディング t=14mm

(開口部) アルミ+樹脂複合サッシ

(その他)

内部仕上

(床) 複合フローリング(アカシア合板)

(壁) ビニールクロス貼り

(天井) ビニールクロス貼り

●木材使用について

【使用木材量】

木材の多くを秋田県産材としました。

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	21.47 m ³	21.47 m ³	
マツ	m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	1.72 m ³	m ³	
計	23.19 m ³	24.17 m ³	



集会室



厨房

●設計における工夫点等について

地域の要望に応じ、外観、集会室・厨房等の配置を決定しました。



■事業概要

事業内容：木造公共施設等整備、木の香るまち等施設整備

発注者：小坂町

設計者：(株)田中建築設計事務所

施工者：(建設) 小坂建設(株)

：(電気) 小坂建設(株)

：(機械) 小坂建設(株)

木材供給：(スギ集成材)

(スギ一般材) 北秋商事(株)、豊田木材(株)

(フローリング) 藤島林産(株)

(その他) 豊田木材(株)

(原木供給) 大館北秋田森林組合
協同組合秋田県北木材センター

事業名：木材産業振興臨時対策事業

工期：平成23年5月～平成24年2月

設計費：628千円

建設費：(建設) 15,042千円

：(電気) 1,107千円

：(機械) 1,911千円

：(合計) 18,060千円

1m²当たり建設費：169千円

② 古苦竹自治会館

施設概要

事業主体：小坂町

施設名称：古苦竹自治会館

所在地：鹿角郡小坂町小坂字横道14番地3

施設用途：集会場

用途地域：第1種住居専用区域

防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

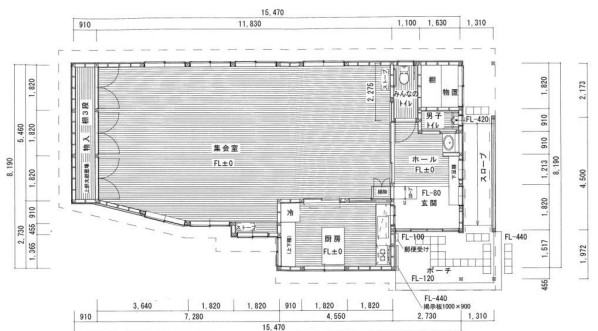
小坂町では、地域のコミュニティ活動の推進を目的に自治会館の建設を進めています。

【施設の特徴】

外壁の一部には県産のスギ、フローリングには町に多く自生するアカシアを使用しています。秋田県バリアフリー社会の形成に関する条例に基づいた設計となっています。内装仕上げ等化学物質対策に応じた設備としています。

●配置計画について

地域の要望に応じ、外観、集会室・厨房等の配置を決定しました。



■建物情報

階数：地上1階

構造：木造

小屋組方式：木造軸組構造

敷地面積：250.70 m²

建築面積：119.85 m²

延床面積：105.99 m²

最高高さ：4.88 m

最高軒高：4.43 m

最大スパン：4.50 m

耐火・準耐火：その他建築物

■主要仕上

外部仕上

(屋根) ガルバリウムカラー鋼板

(外壁) スギ板 t=18mm、防火サイディング t=16mm

(開口部) アルミ+樹脂複合サッシ

内部仕上

(床) 複合フローリング (アカシア合板)

(壁) ビニールクロス貼り

(天井) ビニールクロス貼り

●木材使用について

【使用木材量】

木材の多くを県産材としました。

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	27.80 m ³	27.80 m ³	
マツ	m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	1.60 m ³	m ³	
計	29.40 m ³	27.80 m ³	



集会室



厨房

●設計における工夫点等について

地域の要望に応じ、外観、集会室・厨房等の配置を決定しました。



■事業概要

事業内容：木造公共施設等整備、木の香るまち等
施設整備

発注者：小坂町

設計者：松谷建築設計

施工者：（建設） ㈱タナックス

：（電気） ㈱タナックス

：（機械） ㈱タナックス

木材供給：（スギ集成材） 三浦木材㈱

（スギ一般材） ㈱山健高橋製材所

（フローリング） 藤島林産㈱

（その他）

（原木供給） 古河林業㈱阿仁林業所

花田造林部㈱

事業名：木材産業振興臨時対策事業

工期：平成22年10月～平成23年2月

設計費：714千円

建設費：（建設） 15,630千円

：（電気） 2,475千円

：（機械） 898千円

：（合計） 19,003千円

1m²当たり建設費：179千円

③ 八竜多目的交流施設 ゆめすた

施設概要

事業主体：三種町

施設名称：八竜多目的交流施設 ゆめすた

所在地：山本郡三種町鶴川字西本田10番

施設用途：多目的交流施設

用途地域：一

防火地域：一

【外観写真】



●木にこだわったぬくもりのスペース

当施設は、秋田の誇る県産材と、高度加工材をふんだんに使用したシンボリックな木材公共施設です。野外スポーツや文化活動の拠点として、多くの利用者から木のぬくもりなど木材施設の良さを実感していただき、県木材産業の振興を図ります。



梁の組み立て



建方完了

■建物情報

階数：地上1階
構造：木造（大断面集成材）
小屋組方式：軸組工法
敷地面積：2,812m²
建築面積：1,670m²
延床面積：1,575m²
最高高さ：13m
最高軒高：8.5m
最大スパン：32m
耐火・準耐火：準耐火

■主要仕上

外部仕上
（屋根）フッ素鋼板瓦棒葺き t=0.45mm
（外壁）スギ羽目板張り（サイディング下地） t=21mm
（開口部）アルミサッシ
（その他）軒天井杉板張り t=18mm
内部仕上
（床）砂入れ人工芝
（壁）スギ板張り t=18mm
（天井）強化石膏ボード
（その他）外壁断熱材 樹皮ボード t=25mm

●木材使用について

構造材はスギ大断面集成材を使用。
また、内外装にもスギ板を使用。
断熱材にはスギの樹皮ボードを採用。

木材使用量 スギ 395^m

●設計における工夫点

テニスコートが2面とれる交流ホールを大断面集成材で作るため、タイバーと方杖が用いられている。

また、このアリーナは、自然光を積極的に取り入れる設計により従来の施設に比べ格段にスポーツ空間を実現している。

内装は厚さ18mmのスギ板張りとし、断熱材には樹皮ボードが使用され、外装も21mmのスギ板張りとしている。

屋根下地や壁下地をはじめ管理部門も地元の大工が施工可能な在来工法としている。



●交流ホール（アリーナ）

構造には秋田スギで作られたスパンが32mの大断面集成材を使用し、天井には採光用のトップライトを配しています。また、床は砂入れ人口芝で、壁と天井に全面に防球ネットを張り、イベントやスポーツなどの多目的な使用を可能にしています。



■事業概要

事業内容：木造施設整備

発注者：三種町

設計者：株式会社渡辺佐文設計事務所

施工者：（建設）成田建設株式会社

：（電気）工藤電気工事株式会社

：（機械）本荘産業株式会社

事業名：木材産業構造改革強化施設整備事業

工期：平成15年7月～平成16年1月

設計費：10,797千円

建設費：（建設）328,650千円

：（電気）27,037千円

：（機械）55,125千円

：（合計）410,812千円

木材提供：秋田グルーラム株式会社

1m²当たり建設費：245千円

④ 秋田市雄和左手子山村交流センター

施設概要

事業主体：秋田県秋田市

施設用途：集会所

施設名称：秋田市雄和左手子山村交流センター

用途地域：都市計画区域外

所在地：秋田市雄和左手子字清水下43番地3

防火地域：一

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

構造材や内外装材に秋田スギを多用し、木の温もりを直接五感で感じられる施設とし、来館者に木造施設の良さを認識してもらい、地域材の需要拡大を促進します。

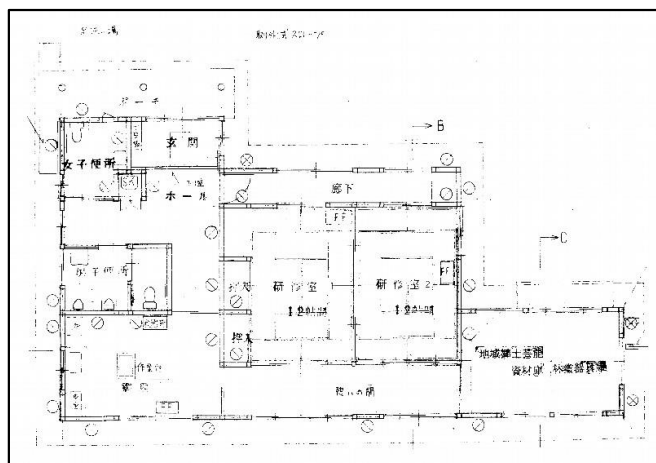
また、スギ合板、樹脂ボードなどを積極的に使用し、未利用資源の有効な活用について、施設利用者に広くPRします。

●配置計画について

周囲の環境に配慮し、外壁は景観に配慮し壁は白と壁面は黒にしました。

玄関から右側にトイレを配し、左側の廊下を通り研修室2部屋を配置しました。

玄関からホール奥に調理室を配し、その左側に憩いの間を通り地域郷土芸能資材庫と林業器具庫を配置しました。



■建物情報

階数：地上1階
 構造：木造平屋建
 小屋組方式：集成材接合
 敷地面積：686 m²
 建築面積：152 m²
 延床面積：146 m²
 最高高さ：5.7 m
 最高軒高：3.3 m
 最大スパン：3.2 m
 耐火・準耐火：準耐火

■主要仕上

外部仕上
 (屋根) 構造用合板、アルミ亜鉛合金メッキ鋼板
 (外壁) 防火サイディング、一部木製下見板張、木材保護塗料塗装
 (開口部) アルミサッシ

内部仕上

(床) 構造用合板
 (壁) 構造用合板
 (天井) スギ化粧合板

● 木材使用について

構造材	スギ	11.418m ³
	// ベイマツ	2.164m ³
	// カラマツ	2.419m ³
内装材	スギ	6.097m ³
	// メルクシパイン	0.063 m ³
	// ラワン合板	0.119m ³
下地材等	スギ	12.164m ³
	// スギ合板	4.587m ³

※スギは県産材を使用

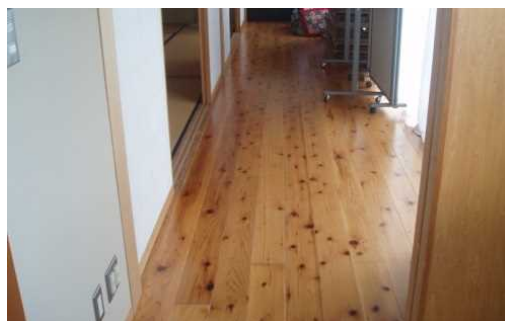
【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	34.27 m ³	34.27 m ³	
マツ	4.65 m ³	4.58 m ³	
広葉樹	0.12 m ³	m ³	
その他	m ³	m ³	
計	39.04 m ³	38.85 m ³	



● 設計における工夫点について

使用材料、下地材、接着材等は全てホルムアルデヒド基準値規制対象外としました。



● その他（特筆される事項）

木工事には秋田スギを主体に使用しました。



■ 事業概要

事業内容：秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業
 発注者：秋田県秋田市
 設計者：株式会社小野コンストラクション・マネジメン
 ト総合研究所
 施工者：（建設）今建設有限公司
 ：（電気）はせがわ電気
 ：（機械）山二施設工業株式会社
 木材供給：（スギ集成材）ヤマト木材株式会社 ほか
 （スギ一般材）ヤマト木材株式会社 ほか
 （フローリング）ヤマト木材株式会社 ほか

事業名：左手子山村交流センター新築工事
 工期：平成16年10月～平成17年3月
 設計費：2,352千円
 建設費：（建設）12,285千円
 ：（電気）893千円
 ：（機械）2,100千円
 ：（その他）2,146千円
 ：（合計）19,776千円
 1m²当たり建設費：130千円

⑤ 秋田市雄和山村交流センター

施設概要

事業主体：秋田県秋田市

施設名称：秋田市雄和山村交流センター

所在地：秋田市雄和碓田字梵天野27番地7

施設用途：集会所

用途地域：都市計画区域外

防火地域：一

【外観写真】



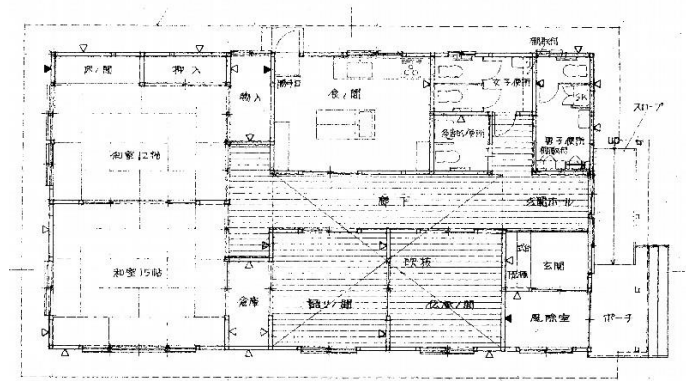
●施設の特徴、内容について

地域の農林業を振興し、県内産の木材の需要の拡大を図るための展示効果の高い木造公共施設ならびに地域の住民の交流の促進および福祉の向上のための施設です。

●配置計画について

地域の環境に配慮し、外壁の色は黒と白に統一しました。

玄関ホールから正面にトイレを配置し、廊下を挟んで左側も農林業の伝承の間と語りの間を、その向かいに調理室を配し奥に27畳の和室を配置した。



■建物情報

階数：地上1階
構造：木造平屋建

小屋組方式：集成材接合

敷地面積：1,764 m²
建築面積：162 m²
延床面積：153 m²
最高高さ：5.6 m
最高軒高：5.0 m
最大スパン：3.7 m
耐火・準耐火：準耐火

■主要仕上

外部仕上

(屋根) アルミ亜鉛合金メッキ鋼板
(外壁) スギ板 t=18mm 下見板張り、木材保護着色塗装
(開口部) アルミサッシ

内部仕上

(床) スギ1等本実加工ウレタン塗装
(壁) ビニールクロス貼
(天井) 化粧石膏ボード

● 木材使用について

【使用木材量】

構造材：スギ材 22.522m³
 造作材：スギ材 3.524m³
 構造材：ベイマツ材 1.215m³

※スギ材は県産材を使用。

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	26.05 m ³	26.05 m ³	
マツ	1.22 m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	m ³	m ³	
計	27.27 m ³	26.05 m ³	



● 設計における工夫点について

合板、フローリング及び各種ボード類のホルムアルデヒドの放射量又は放出量を抑えた。



● その他（特筆される事項）

木工事には秋田スギを主体に使用した。



■ 事業概要

事業内容：秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業
 発注者：秋田県秋田市
 設計者：株式会社小野建築研究所
 施工者：（建設）株式会社佐々木工務店
 ：（電気）株式会社佐々木工務店
 ：（機械）株式会社佐々木工務店
 木材供給：合資会社京極材木店

事業名：山村交流センター新築工事
 工期：平成14年7月～平成14年10月
 設計費：1,365千円
 建設費：（建設）15,472千円
 ：（電気）1,504千円
 ：（機械）3,059千円
 ：（合計）21,400千円
 1m²当たり建設費：132千円

⑥ 下開交流館

【施設概要】

事業主体：横手市
 施設名称：横手市下開交流館
 所在地：横手市雄物川町薄井字下開330番
 施設用途：交流施設（研修、集会等）
 用途地域：—
 防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



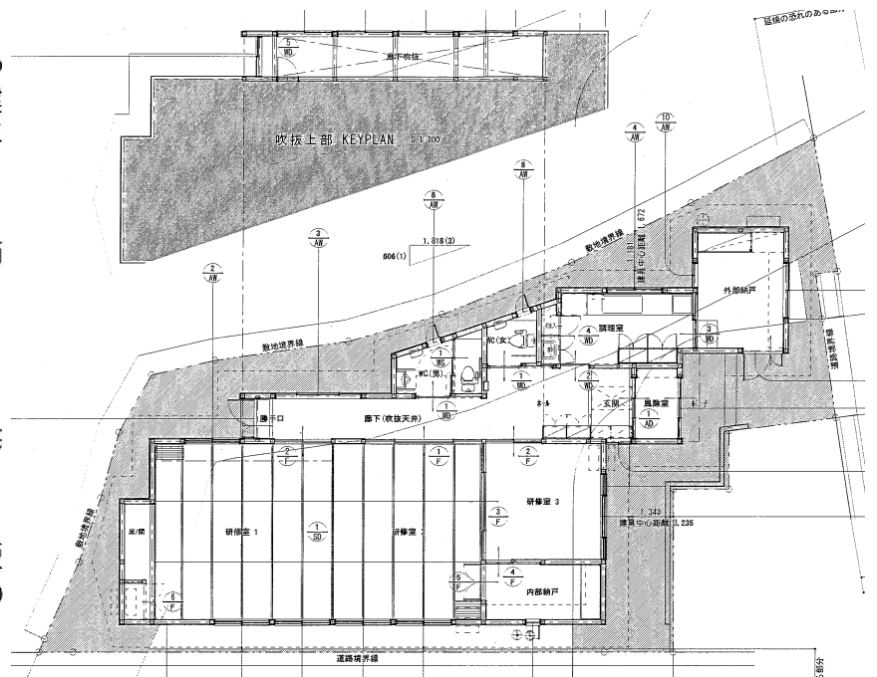
●施設の特徴、内容

本施設は、地域住民が多数利用する集会施設において、モデル的な木造建築物を整備することを目的として、平成20年度に建築されました。

秋田スギを使うことにより施設に訪れる人々に木材の良さをPRし、県産材利用の促進を図っています。

施設内は、研修室（3室）・調理室・ホール等となっており、各種研修やイベントに利用されています。

建物内外部に県産材をふんだんに使用しているため、温もりのある交流の場となっています。



■建物情報

階数：地上1階
 構造：木造
 小屋組方式：和小屋組(在来工法)
 敷地面積：249 m²
 建築面積：130 m²
 延床面積：127 m²
 最高高さ：7.2 m
 最高軒高：4.0 m
 最大スパン：5.4 m (柱支点間距離)
 耐火・準耐火：その他(非耐火・非準耐火)

■主要仕上

外部仕上
 (屋根) 長尺カラーガルバリウム鋼板 横葺き t=0.4mm
 (外壁) (主)厚18.0杉板縦張(他)厚16.0窯業系サイディング
 (開口部) アルミ製建具
 (その他) —
内部仕上
 (床) 厚15.0天然木化粧複合フローリング/タタミ
 (壁) 厚12.5石膏ボード下地ビニル貼
 (天井) 厚9.5グアツ/厚12.50yのH吸音板/ビニル貼
 (その他) —

● 木材使用について

構造材（土台以外）及び造作材において、秋田スギを使用しています。

出来る限り多くの木材を利用するため、外壁のほとんどをスギ板張りとしたほか、内装の天井材・建具などにも可能な限り木材を使用しています。

（内外とも落ち着いた雰囲気となっています。）

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	34.0 m ³	34.0 m ³	
マツ	1.9 m ³	m ³	カラマツ（土台）
広葉樹	m ³	m ³	
その他	m ³	m ³	
計	35.9 m ³	34.0 m ³	



（研修室）



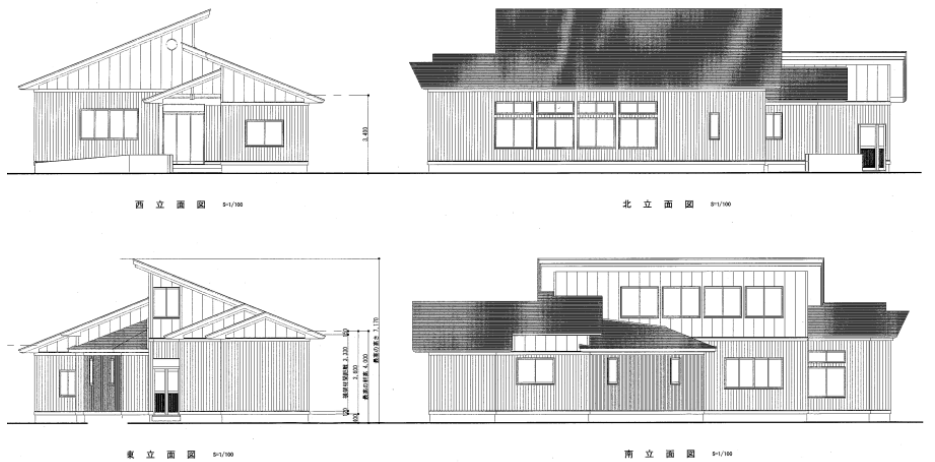
（廊下吹抜）

● 設計における工夫点等

駐車場から玄関までをスロープ化したほか、建物内においても段差を無くしているため、障害者や高齢者が利用しやすい設計となっています。

変形敷地であったため、建物の形状が複雑になったが、吹抜空間を設けて屋根・梁を露出しています。

吹抜の最上部に窓を設置し、ホール・廊下へ自然光を採りいれています。



■ 事業概要

事業内容：木造公共施設整備（先駆的施設整備）

発注者：横手市

設計者：久米一級建築設計事務所

施工者：三又建設株式会社

木材供給：（スギ構造材）三又建設株式会社

：（スギ造作材）三又建設株式会社

：（スギ集成材）秋田県南木材高度加工協同組合

事業名：秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業

工期：平成20年10月～平成21年3月

設計費：730 千円

建設費：（建築）23,336 千円

：（その他）248 千円

：（合計）24,314 千円

1 m² 当たり：
建設費

191 千円

⑦ 十五野交流館

【施設概要】

事業主体：横手市
 施設名称：横手市十五野交流館
 所在地：横手市平鹿町浅舞字十五野南93番4号
 施設用途：交流施設（研修、集会等）
 用途地域：一
 防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



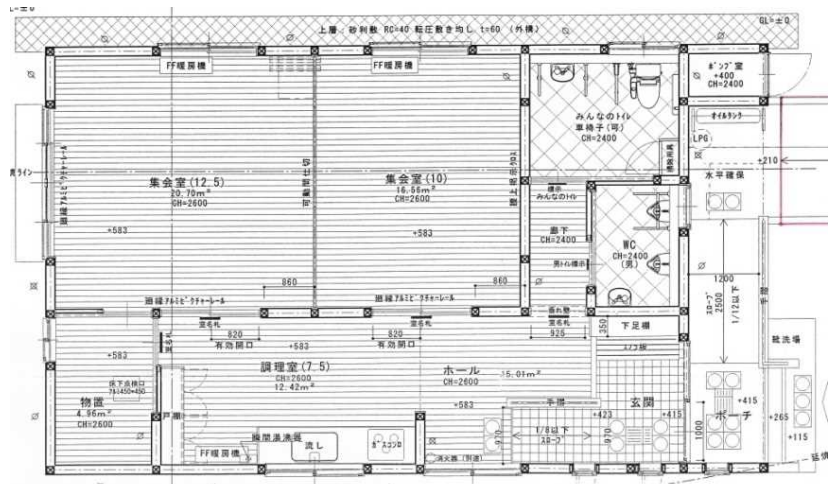
●施設の特徴、内容

本施設は、地域の各種団体のコミュニティの推進を図ることを目的として、平成22年度に建築されました。

秋田スギなどを使い、施設を訪れる人々に木材の良さをPRし、県産材の利用促進を目的としています。

施設内は、集会室（2室）・調理室・ホール等となっており、各種研修やイベントに利用されています。

建物内外部に県産材をふんだんに使用しているため、温もりのある交流の場となっています。



■建物情報

階数：地上1階
 構造：木造
 小屋組方式：木造束立
 敷地面積：367m²
 建築面積：89m²
 延床面積：89m²
 最高高さ：4.5m
 最高軒高：3.9m
 最大スパン：4.6m
 耐火・準耐火：その他

■主要仕上

外部仕上
 (屋根) 長尺ガルバリウム鋼板葺き t=0.40mm
 (外壁) 窯業系サイディング下張り、杉板t=15張り、防腐塗装
 (開口部) アルミ、樹脂複合断熱サッシ
 (その他) -
内部仕上
 (床) 構造用合板 t=28下地グリーンボード t=15
 (壁) 石膏ボード t=12.5下地珪藻土塗り
 (天井) 石膏ボード t=9.5下地ロックウール吸音板
 (その他) -

● 木材使用について

建物はコンパクトながら、秋田スギをふんだんに使用しています。

(構造材の土台以外は全て秋田スギを使用)

外壁のほとんどはスギ板張りになっているほか、内装についても腰壁や引き戸にも可能な限り木材を使用しています。

(内外とも落ち着いた雰囲気となっています。)

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	21.6 m ³	21.6 m ³	
マツ	m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	1.3 m ³	m ³	土台 (ベイツガ)
計	22.9 m ³	21.6 m ³	



(集会室)

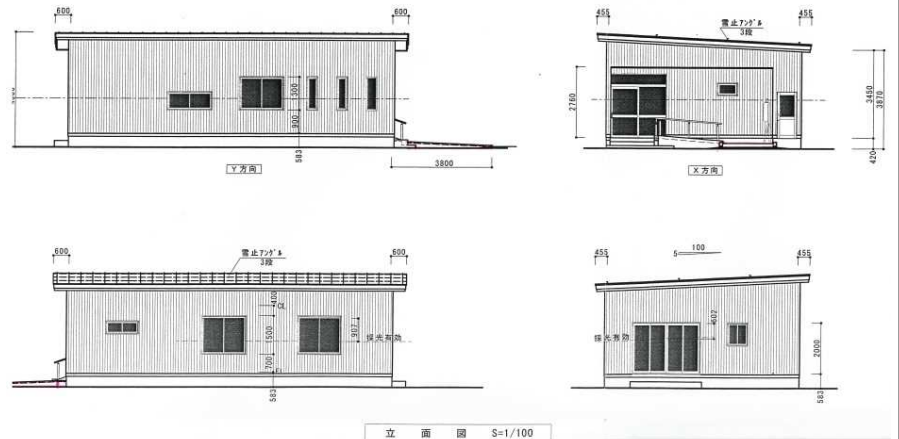


(調理室)

● 設計における工夫点等

駐車場から玄関内までをスロープ化(手摺付き)したほか、建物内においても段差を無くし、障害者や高齢者が利用しやすい設計としました。

歩行補助用具の利用者でも安心して移動ができます。



■ 事業概要

事業内容：木造公共施設整備(木の香るまち等施設整備)

発注者：横手市

設計者：酒井一級建築設計事務所

施工者：大類工務店

木材供給：(スギ構造材)秋田県北木材センター

：(スギ造作材)三又建設株式会社

：(その他)三又建設株式会社外

事業名：木造公共施設等整備事業

工期：平成22年10月～平成23年3月

設計費：683千円

建設費：(建築) 14,922千円

：(その他) 25千円

：(合計) 15,630千円

1m²当たり：
建設費：

176千円

⑧ 湯沢市ふるさとふれあいセンター

施設概要

事業主体：湯沢市
施設名称：湯沢市ふるさとふれあいセンター
所在地：湯沢市岩崎字寝連沢9番4号

施設用途：交流施設（各種研修・集会等）
用途地域：第1種居住地域
防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

木材の効用を生かし、秋田スギを多用、日本の在来軸組工法における伝統技術と新技術を融合させ、木造建築の普及促進や林業・木材産業振興のシンボリックな施設を目指して建築されました。

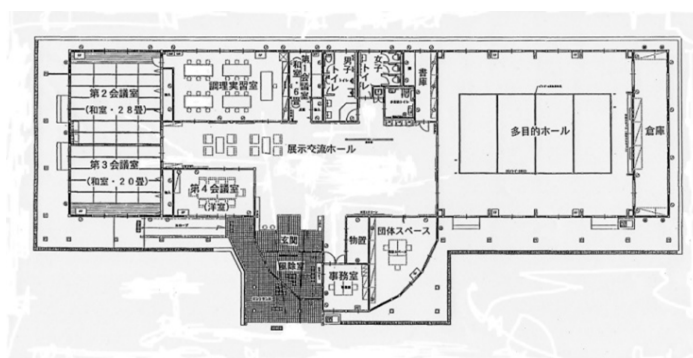
外壁腰板に秋田スギを利用して木の風合いをそのまま生かした自然と調和する外観で、腰上は白壁、屋根は切妻屋根として周囲にマッチした和風デザインとなっています。内装材にも秋田スギを多用し、木材の温もり、感触、香りはもちろん、断熱、調湿効果を感じて貰えるよう配慮されております。

展示交流ホールは、吹き抜け構造で、在来軸組工法と大断面集成材の架構を表し、木造建築の美しさとダイナミックさが表現されてます。

また、内部独立柱の円筒LVL、秋田スギの樹皮を利用した断熱材等の木質系資材の使用など先駆的な技術が積極的に取り入れられております。

●配置について

施設の内部は、「事務室」及び「団体スペース」を始め、誰でも気軽に休憩したり、プロジェクターを使用した研修等ができる「展示交流ホール」、壁収納式ステージを備え、各種の集会や軽スポーツ等に広く利用できる「多目的ホール」、「男女トイレ」、障がいのある方や乳幼児連れの方にも利用しやすい「多目的トイレ」、少人数の使用に重宝な六畳の「和室」、五台の調理実習台を備えた「調理実習室」、間仕切り使用もできる畳敷きの「会議室」、テーブル・イス式の「小会議室」で構成されています。



■建物情報

階数：地上1階
構造：木造
小屋組方式：和小屋組工法・集成材ラーメン構造
敷地面積：3,075.96 m²
建築面積：789.92 m²
延床面積：685.26 m²
最高高さ：9.98 m
最高軒高：7.25 m
最大スパン：12.73 m
耐火・準耐火：その他建築物

■主要仕上

外部仕上
（屋根）長尺ガルバリウム鋼板横葺 厚さ0.4mm
（外壁）杉横羽目板 厚さ15.0mm 窯業系サイディング
（開口部）アルミ樹脂複合サッシ
（その他）杉樹皮断熱材
内部仕上
（床）フナ積層フローリング 厚さ12mm
（壁）杉小幅板 厚さ12mm 準不燃杉板厚さ12mm併用
（天井）ビニールクロス張・一部準不燃杉板張12mm
（その他）ホール：円筒LVL柱 350φ

●木材使用について

木材使用量のうち、県産材の使用量は97.3%です。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	175.1 m ³	175.1 m ³	
マツ	4.7 m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	m ³	m ³	
計	179.8 m ³	175.1 m ³	



展示交流ホール
(在来軸組工法と大断面集成材の架構)



多目的ホール

●設計における工夫点等について

- ・アプローチのし易さ、わかりやすい動線計画
- ・切妻を基調とした大屋根から明かりを取り入れる
- ・軒の出を長くすることで、夏は強い日差しを遮り、冬は軒先からの落雪を建物外壁から遠ざけ、室内に自然光を取り入れる
- ・開口部を効果的に設け自然の風の道をつくる
- ・四季に応じて利用できるテラス空間確保



●その他

暖房設備として木質バイオマスを燃料とする「ペレットストーブ」が展示交流ホールに設置されております。



■事業概要

事業内容：木造施設整備、内装木質化整備
 発注者：湯沢市
 設計者：シグマ企画 加納設計
 施工者：(建設) 株式会社 和賀組
 : (電気) 合資会社 平和電業社
 : (機械) 岩野設備工業株式会社
 木材供給：(スギ集成材) 秋田グルーラム株式会社 ほか
 (スギ一般材) 秋田木材株式会社 ほか
 (フローリング) 山二建設資材株式会社
 (その他) 山二建設資材株式会社 ほか
 (原木供給) 秋田県森林組合連合会ほか

事業名：森林・林業・木材産業交付金
 工期：平成19年9月～平成20年3月
 設計費：7,350千円(監理費込み)
 建設費：(建設) 130,200千円
 : (電気) 15,816千円
 : (機械) 25,935千円
 : (合計) 179,301千円
 1m²当たり建設費：261千円

⑨ 羽後町明治交流館（かしわ館）

施設概要

事業主体：羽後町

施設名称：明治交流館（かしわ館）

所在地：雄勝郡羽後町新町字新町176番地

施設用途：交流施設（各種研修・会議等）

用途地域：一

防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】

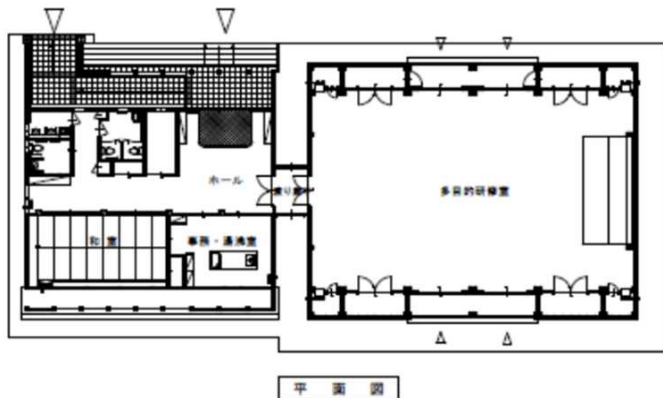


●施設の特徴、内容について

地域の重要な交流の場である小学校の統廃合が進む中、地域住民が気軽に集まることができ、さらに定住促進に資するコミュニティ活動に欠かせない交流施設として建設されました。当明治地区は古くから林業が盛んであり、秋田スギをはじめとして建具まで随所に木材を使用した建物となっています。多目的研修室以外の建物外まわりは雪国では昔から建物に施されていた雁木を設け、外観の色目も古風で緑豊かな景観に溶け込んでいます。玄関を入れてすぐ目にする30cm角のスギ柱が、すばらしく重奏な安定感をもたらしています。建物でメインとなっている多目的研修室は大断面杉集成材を表し、天井と窓以外は細部まで木材が使用されており、暖かみとやわらかさあふれる雰囲気での交流活動ができる施設となっております。

●配置について

多雪地域の為、建物の形態を単純化し、積雪に考慮した配置計画にしています。



■建物情報

階数	数	地上1階
構造	造	木造平屋
小屋組方式		
敷地面積	積	2,225.80 m ²
建築面積	積	489.62 m ²
延床面積	積	370.36 m ²
最高高さ		9.03 m
最高軒高		6.43 m
最大スパン		18.00 m
耐火・準耐火		準耐火、一部耐火建築物、その他建築物

■主要仕上

外部仕上	
(屋根)	アルミ亜鉛合板メッキフッ素鋼板 段葺き t=0.5mm
(外壁)	防火サイディング張り t=14.0mm 吹付塗装(複層塗材E)
(開口部)	アルミサッシ
(その他)	軒天:秋田杉加工木材 t=15.0mm 木材防腐・防護塗装
内部仕上	
(床)	特殊張りフローリングボード t=15.0mm
(壁)	杉板張り t=15.0mm ウレタン塗装2回塗り
(天井)	吸音化粧石膏ボード t=9.5mm
(その他)	巾木:木製(集成材タモ) H=150.0mm

● 木材使用について

木材使用量のうち、県産材の使用量は98.4%。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	398 m ³	395 m ³	
マツ	3 m ³	m ³	
広葉樹	235 m ³	231 m ³	
その他	m ³	m ³	
計	636 m ³	626 m ³	



多目的研修室（大空間を可能とした構造）



玄関ホール（スギ材の優しさを実感できる空間）

● 設計における工夫点等について

県内産のスギを多用する設計を試みた。目視出来る柱、梁、壁材等をすべてスギ材で構成し、スギのやわらかな優しさを感じられる空間となるようにしました。

玄関へとつながる建物側面には、雁木づくりを採用し、やわらかな建物へと導かれるのに相応しい通路となる空間をつくりました。



● その他

一般流通されている寸法材の組み合わせによる大空間を可能とした構造になっております。（大断面スギ集成材は多目的研修施設の梁材のみ）

また、伝統的な継ぎ手・仕口の技術が用いられた在来工法の建物です。



■ 事業概要

事業内容：木造施設整備、内装木質化整備

発注者：羽後町

設計者：武田1級建築設計事務所

施工者：（建設）株式会社 柴田組
 ：（電気）羽後電設工業株式会社
 ：（機械）株式会社 佐藤総合設備

木材供給：（スギ集成材）秋田グルーラム株式会社
 （スギ一般材）合資会社 小川材木店
 （フローリング）山二建設資材株式会社
 （その他）山二建設資材株式会社
 （原木供給）秋田県森林組合連合会 ほか

事業名：農山漁村活性化プロジェクト支援交付金

工期：平成20年9月～平成21年3月

設計費：6,612千円（監理費込み）

建設費：（建設）137,299千円

：（電気）上記金額に含む

：（機械）上記金額に含む

：（合計）137,299千円

1m²当たり建設費：371千円

⑩ ウッディホールこだま 新館きずな

施設概要

事業主体：由利本荘市

施設名称：由利本荘市ウッディホールこだま

所在地：由利本荘市館字中島372

施設用途：多目的集会施設

用途地域：一

防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



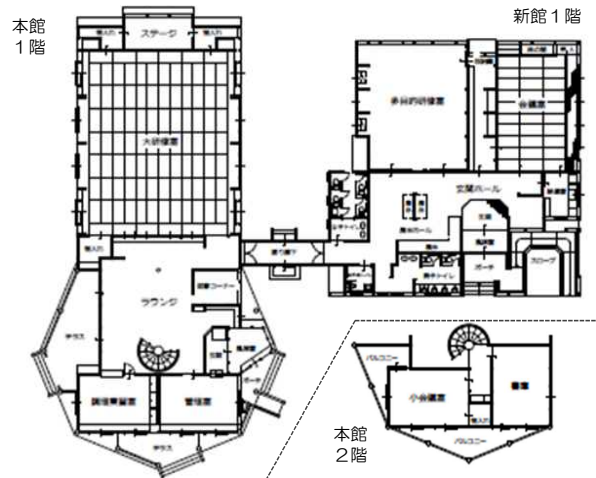
●施設の特徴、内容について

柱や梁の主要構造部のほか、内外装にも県内産のスギが使用されており、木の温もりを感じられる集会施設となっています。渡り廊下でつながる既存の本館には市の出張所及び公民館機能があり、地区住民の生涯学習・文化活動、自治活動、地域活性化に資する活動など、幅広い用途に利用されています。

●配置計画について

同敷地内に隣接する既存施設の本館と渡り廊下で連結し、新旧施設を一体的に活用するものです。

新館部分については、地域からの要望を取り入れ、軽運動や団体活動に利用できる多目的研修室や少人数から利用できる和室等を有し、また、ホールには地域の文化的資料などを展示するスペースを設けています。



■建物情報

階数	： 地上1階
構造	： 木造
小屋組方式	： 和小屋組（在来工法）
敷地面積	： 2,938.28 m ²
建築面積	： 372.93 m ²
延床面積	： 322.56 m ²
最高高さ	： 7.10 m
最高軒高	： 4.30 m
最大スパン	： 7.70 m
耐火・準耐火	： その他建築物

■主要仕上

外部仕上	
（屋根）	フッ素GL銅板 t=0.4mm
（外壁）	腰壁 杉板 t=18mm WP塗装仕上げ その他 窯業系防火サイディング t=14mm 防水形複層塗材
（開口部）	アルミ製カラーサッシ
内部仕上	
（床）	天然木化粧複合フローリング t=12mm
（壁）	腰壁 杉板 t=12mm UC塗装 腰上壁 石膏ボード t=12.5mm ビニールクロス張り
（天井）	石膏ボード t=9.5mm ロックウール吸音板 t=12mm

● 木材使用について

構造材は、土台等の一部を除き、すべて県内産スギ材（製材、集成材）を使用しています。

また、内装材及び外装材でも地域の木材を多く取り入れています。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	83 m ³	83 m ³	
マツ	m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	7 m ³	m ³	
計	90 m ³	83 m ³	

● 設計における工夫点等について

既存施設の本館（ラウンジ、大研修室等）との相互連携を考慮した平面計画と立面デザインを反映させることを意図する計画としました。

また、内装・外装とも腰上壁を白色系統とし、対比させることにより、木材による仕上げを引き立たせることを意図しました。



多目的研修室



玄関ホール



展示ホール

● ペレットストーブの設置

ペレットストーブを暖房設備の一部として設置し、地域業者が製造する木質バイオマス燃料であるペレットを活用しています。



■ 事業概要

事業内容：木造公共施設等整備

発注者：由利本荘市

設計者：あいば建築設計工房株式会社

施工者：長田建設株式会社

事業名：次世代林業基盤づくり事業費補助金

工期：平成28年9月～平成29年3月

設計費：7,128千円

建設費：101,952千円

木材供給：（スギ集成材） 秋田グルーラム株式会社 ほか

（スギ一般材） 有限会社佐東製材所

（フローリング） 矢島木材乾燥株式会社

（その他） 株式会社サイエンス ほか

（原木供給） 本荘由利森林組合 ほか

1m²当たり建設費：316千円

トピック2 歴史ある木の伝統工芸

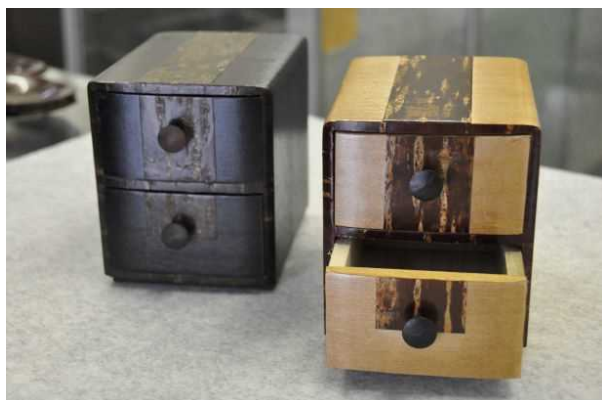
① 樺細工（仙北市角館町）

経済産業大臣指定 伝統的工芸品

「樺細工」は、約230年前の藩政時代に武士の副業として広まったもので、現在は、名実共に日本を代表する工芸品となっています。

オオヤマザクラなどの樹皮を十分乾燥させたものを原料とし、木型を使う「型もの」や、下地に板を使った「木地もの」、桜皮を積層状に貼り重ねて彫刻する「たたみもの」などの技法を用いて製作されます。

樹皮の模様や深く渋い光沢が特徴で、伝統的な茶筒や箱物をはじめ、現代向きの生活用品などの創作品も作られています。



② 大館曲げわっぱ（大館市）

経済産業大臣指定 伝統的工芸品

「曲げわっぱ」は、藩政時代、領内の豊富な森林資源に着目した大館城代佐竹西家が、武士の副業として制作を奨励し発展したといわれ、秋田名物として秋田音頭にも歌われるなど、秋田県を代表する特産品の一つです。

薄く剥いだスギの杙目材を熱湯につけ柔らかくしてから型に巻き付けて加工し、乾燥後に両端を桜皮で縫い止め、底入れなどの工程を経て完成します。

木目の美しさを活かした明るく優雅な風合いと、軽量で吸湿性に優れるといった特徴を備え、伝統的な弁当箱やお櫃などに加え、カップなど現代的な生活用品も作られており、優れた木工品として海外にも知られています。



トピック2 歴史ある木の伝統工芸

③ 秋田杉桶樽（大館市・能代市）経済産業大臣指定 伝統的工芸品

秋田杉を使った桶樽の歴史は古く、秋田城跡からは、15～16世紀のものと思われる桶や樽の一部などが発掘されています。

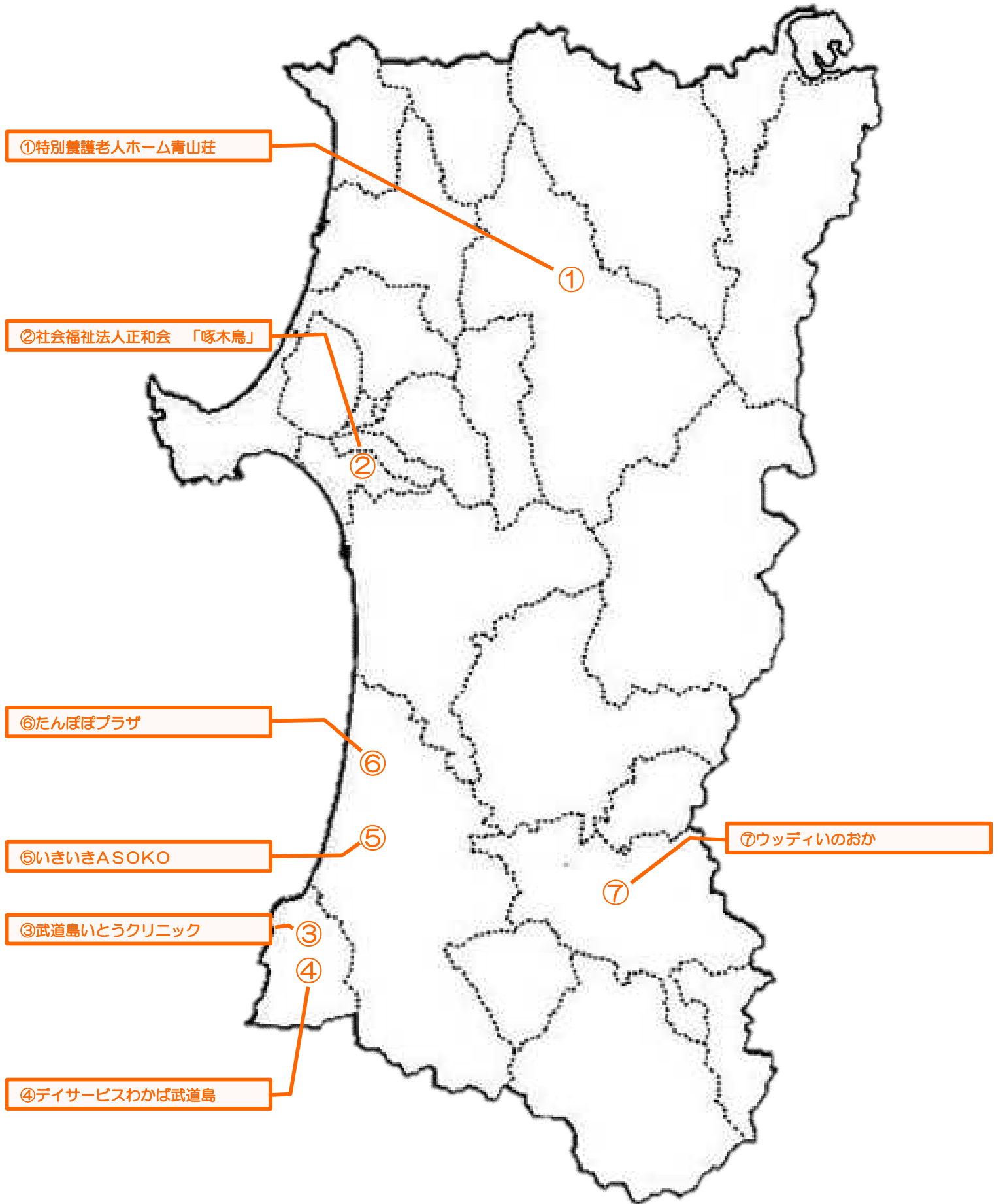
江戸時代に入り、秋田藩の奨励・保護のもとで秋田杉桶樽は次第に普及し、産地が形成され、また、明治から大正時代にかけては、桶や樽の需要が増加し、丈夫な秋田の桶樽も人気が高まりました。

スギ丸太から短冊状の小幅の板「樽（くれ）」を作り、輪のように立て、これに「たが」をかけて固定し、底板や蓋を付け表面を仕上げて完成します。なお、一般に、桶は柾目を使い固定した蓋がなく、樽は板目を使い固定した蓋のあるもの、と区別されます。伝統的な各種の桶・樽をはじめ、現代の生活にもマッチするインテリア用品など、新たな用途の製品も開発されています。



木造施設事例位置図

■福祉・医療施設



① 社会福祉法人芳徳会 特別養護老人ホーム青山荘

施設概要

事業主体：社会福祉法人芳徳会
施設名称：特別養護老人ホーム青山荘
所在地：北秋田市綴子字釜堤脇10番

施設用途：特別養護老人ホーム
用途地域：都市計画区域内
防火地域：一

【外観写真】

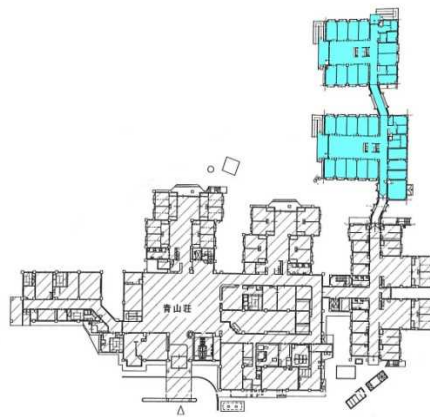


●施設の特徴、内容について

- ①この施設は、明るさと入居者へのやさしさをテーマに運営されており、地域の市町村より注目されている施設であると自負しております。
- ②増築工事であり、本館棟と同じ鉄筋コンクリート造りであるが、仕上げ材に木材を十分に取り入れ木造住宅の雰囲気と計画し、入居者に安心感を与えられる様配慮しました。

●配置計画について

- ①居間、食堂よりの景観を重視し、冬期間の季節風を考えて、配置及び平面計画を行った。
- ②ユニットプランのプライバシーを尊重しながらも、管理、介護しやすい動線とし、本館のユニットとも違和感のない様配慮した。



■建物情報

階数：地上1階
構造：鉄筋コンクリート造
小屋組方式：
敷地面積：12,766.0 m²
建築面積：755.3 m²
延床面積：759.8 m²
最高高さ：6.8 m
最高軒高：4.2 m
最大スパン：6.6 m
耐火・準耐火：耐火建築物

■主要仕上

外部仕上
（屋根）ガラス繊維入りシート防止
（外壁）吹付タイル
（開口部）アルミサッシ、ペアガラス
（その他）
内部仕上
（床）フローリング 15mm
（壁）石膏ボード、ビニールクロ貼
（天井）杉板張り 12mm
（その他）浴室、磁器タイル

●木材使用について

- ①県内産のスギを仕上げ材に使用した。
- ②廊下の天井に木の格子を取付け、暖かさを表現した。
- ③下り壁、ランマやトップライト格子を木材に計画し、木の空間を計画した。
- ④WCの壁に木の合板を張り、家庭の雰囲気強調した。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	29.86 m ³	29.86 m ³	
マツ	m ³	m ³	
広葉樹	6.34 m ³	6.34 m ³	ナラ
その他	m ³	m ³	
計	36.20 m ³	36.20 m ³	



居間入口



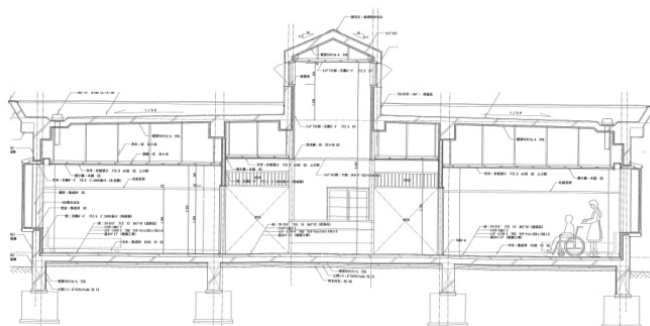
廊下



居間天井

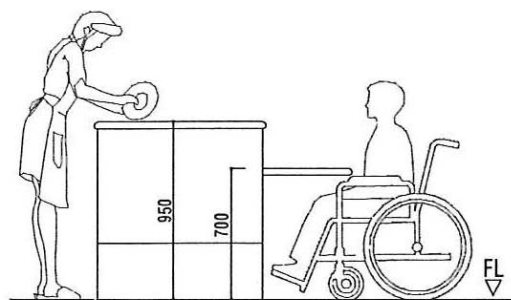
●設計における工夫点等について

- ①多雪地帯であるため、無落雪屋根を取り入れ、落雪等に係るトラブルを解消しました。
- ②冬期間の寒さを考え、床暖房を取り入れ、居室の温度差をなくし、エアコンも取付け、補助暖房と冷房を計画し、入居者の快適性を考慮した。



●その他（特筆される事項）

- ①日常生活の細かい動作や考え方を介護する人と十分に協議・打合せし、機能性の高い安全な建物を設計しました。
- ②建物の換気にも十分配慮して設計し、本館棟と同じ「オゾン」による脱臭装置も考えました。



■事業概要

事業内容：木造公共施設整備、内装木質化整備
発注者：社会福祉法人芳徳会
設計者：小畑・奈良田設計共同企業体
施工者：(建設)株式会社 芳賀工務店
 (電気)ヤコム東北エンタープライズ(株)
 (機械)ヤコム東北エンタープライズ(株)
木材供給：(スギ構造材) 有限会社山健高橋製材所
 (スギ造作材) 鷹巣木材株式会社
 (ナラ集成材) 藤島木材工業株式会社

事業名：木造公共施設等整備事業
工期：平成22年7月～平成23年2月
設計費：8,022千円
建設費：(建設) 111,834千円
 (電気) 18,435千円
 (機械) 41,900千円
 (合計) 180,192千円
1m²当たり建設費：237千円

② 社会福祉法人正和会 高齢者短期入所生活介護施設「啄木鳥」

施設概要

事業主体：社会福祉法人 正和会
 施設名称：ショートステイ啄木鳥（きつつき）
 所在地：潟上市天王字棒沼台247番地1

施設用途：高齢者福祉施設（ショートステイ）
 用途地域：—
 防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

この施設は介護が必要な高齢者の住まいであり、快適な居住空間・環境計画が求められます。

古くからの日本建築は、開口部を大きく取ることで風通りをつくり、庇の出を大きくして壁面の熱遮断など、日本固有の気候風土に最も適した形・機能を持っています。本計画では日本古来の英知を現代に生かし、自然を上手に活用して日本の風土に根ざした「闘わない建築」がテーマです。

また県産材である秋田スギをふんだんに活用し、入居者の生活環境向上と建物周囲との調和を図り、外部からの訪問客に対して秋田スギの特徴である美しい木目や香り、視覚によるやわらかさや温もりを肌で感じ取れる空間を提供できます。

南東側外観



●配置計画について

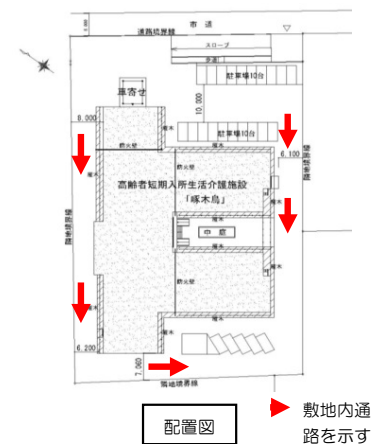
建物の周囲は6m以上の敷地内通路を確保することで

- ①入居者の安全な避難経路を確保すること。
- ②緊急車両が周囲を通行できること。
- ③屋根からの落雪スペースを確保でき、除雪車で排雪できること。
- ④建物のメンテナンスができること。

が容易に行えます。

また軒の出を深くして雁木を設置することは落雪による建物への被害の防止と緊急避難時の誘導路となります。

道路乗り入れから建物までの高低差は車路、歩道共スロープとし車道との境に縁石・手摺を設置し歩行者の安全に配慮しています。



■建物情報

階数：地上1階
 構造：木造平屋建

小屋組方式：集成材接合

敷地面積：15,135.51 m²
 建築面積：2,080.80 m²
 延床面積：1,820.67 m²
 最高高さ：7.71m
 最高軒高：5.65 m
 最大スパン：6.82 m
 耐火・準耐火：その他

■主要仕上

外部仕上
 (屋根) カラーガルバリウム鋼板 t=0.4瓦棒葺、横葺
 (外壁) 漆喰塗り

(開口部) アルミ樹脂複合サッシ
 (その他) 建物軒先：雁木 秋田杉下見板張り
 内部仕上
 (床) コルクタイル張、天然木複合フローリング
 (壁) 秋田杉腰板張り t=12自然塗料塗、ビニルクロス張
 (天井) 秋田杉構造材表し、障子張り、ビニルクロス張
 (その他) 秋田杉構造柱・梁表し

●木材使用について

平成22年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が制定され、公共建築物への木材利用と木材全体の需要を拡大することで森林の適正な整備、地球温暖化防止に貢献することが目標となっています。

この建物は「秋田県林業・木材産業関係施設整備事業」を活用して県産材であるスギ材で地域のシンボルとなる建物を造り、木造建築物の良さを県内外にアピールすることを目的とします。



柱：秋田スギ



玄関ホール



食堂



廊下

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	265.99 m ³	265.99 m ³	
マツ	7.36 m ³	m ³	
ヒノキ	9.19 m ³	9.19 m ³	
ツバキ	33.56 m ³	m ³	
マツ集成材	33.56 m ³	m ³	
スギ	32.42 m ³	32.32 m ³	
針葉樹合板(t=12)	2,235 枚	25.16 m ³	県産スギ含有
針葉樹合板(t=24)	101 枚	3.89 m ³	県産スギ含有
計		26.05 m ³	

●設計における工夫点について

建物は屋根の軒の出を深くし壁面への直射日光を遮光させることで、壁面温度を上げない様になっています。

大屋根は小屋裏空間を大きくし、小屋裏の換気をさせることで屋根からの直接的な熱の伝わりを防ぎます。

内部床は木造床組とし通路となる部分はコルクタイル張りとする事で高齢者の身体への負担を軽減します。

腰壁には県産材である秋田スギを使用して、木目の美しさや香りを、天井は木造建築の小屋組みを表わして木に囲まれた空間を演出します。

またホールや廊下天井には屋根からの光を取り入れ、直射しないように天井障子を入れることで柔らかく暖かな自然光を取り入れています。



●その他（特筆される事項）

本建物は大規模木造建築物であることから1,000m²以内ごとに防火壁の設置を行っています。

また内装制限はスプリンクラー及び排煙設備併用で適用除外し、避難距離など安全を検討してふんだんに木材を利用しています。



■事業概要

事業内容：秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業
 発注者：社会福祉法人正和会
 設計者：株式会社小野建築研究所
 施工者：むつみ建設株式会社
 木材供給：株式会社ウッドミル
 スギ一般材（備ウッドミル、秋田木材など）
 原木供給：秋田県森林組合連合会

事業名：秋田県林業・木材産業関係施設整備事業
 工期：平成23年8月～平成24年2月
 設計費：15,183千円（税抜）
 建設費：365,000千円（税抜）
 1m²当たり建設費：200千円

③ 武道島いとうクリニック

施設概要

事業主体： 武道島いとうクリニック
施設名称： 武道島いとうクリニック
所在地： にかほ市象潟町字家ノ後65番10号

施設用途： 診療所
用途地域： 工業区域
防火地域： 法第22条指定区域

【外観写真】



● 施設の特徴、内容について

当施設は象潟町の市街地に立地して、開業してから長年地域に根ざした診療を行ってきました。今回はその診療所の近くに移転建替えとして計画されました。

利用者はお年寄りが多く、滞在時間も長目のため待合室などに配慮がとられました。



待合室

■ 建物情報

階数： 地上2階
構造： 木造一部鉄骨造
小屋組方式： 垂木方式
敷地面積： 1157.03 m²
建築面積： 353.31 m²
延床面積： 382.55 m²
最高高さ： 7.146 m
最高軒高： 6.756 m
最大スパン： 4.550 m
耐火・準耐火： その他建築物

■ 主要仕上

外部仕上
（屋根）ガルバリウム T0.35
（外壁）防火サイディング
（開口部）アルミサッシ
（その他）
内部仕上
（床）ビニールシート一部杉フローリング T12 ウレタン塗装
（壁）クロス貼一部スギ板T10クリアー塗装
（天井）クロス貼一部スギ板T10クリアー塗装一部スギ化粧梁
（その他）

●木材使用について

構造は木造軸組工法、屋根は垂木工法、柱は4寸角で、構造材、羽柄材、共に主に県内産のスギを使用しています。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	55.7 m ³	55.7 m ³	
マツ	m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	7.0 m ³	m ³	
計	62.7 m ³	55.7 m ³	

●設計における工夫点等について

特に配慮を求められた待合室は、面積、高さ共に大きめのゆったりとしたスペースを確保し、壁内装材にスギ板材を、化粧梁にスギを使用し落ち着きがあり、かつ心安らぐ空間づくりを目指しましたが、施工業者のスギ材の選定への協力等もあり、目指していた空間ができました。院長先生からは「利用者からはとても評判です」とのお言葉をいただいています。



施工中



受付カウンター

■事業概要

事業内容：木造施設整備

発注者：武道島いとうクリニック

設計者：芦野建築設計室

施工者：株式会社 沢木組

：

：

木材供給：（スギ一般材）（有）佐東製材所

（原木供給） サトウ造林（株）

事業名：秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業

工期：平成24年7月～平成24年11月

設計費：3,780千円

建設費：（建設）53,438千円

：（その他）19,537千円

：（合計）72,975千円

1m²当たり：

建設費：191千円

④ デイサービスわかば武道島

施設概要

事業主体：株式会社池田

施設名称：デイサービスわかば武道島

所在地：にかほ市象潟町字家ノ後65番26号

施設用途：高齢者福祉施設（デイサービス）

用途地域：工業地域

防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

日常生活に不自由を感じている高齢者や要介護認定等を受けている方がご利用できる通所施設です。

入浴やお食事、レクリエーションなどで一日をゆったりとお過ごしいただけます。

木材利用促進のため、秋田スギをはじめ県産材を多く使用し、県産材の需要拡大に貢献しています。



ダイルーム

■建物情報

階数：地上1階
構造：木造
小屋組方式：在来工法
敷地面積：1,046.49m²
建築面積：406.62m²
延床面積：337.86m²
最高高さ：6.225m
最高軒高：3.450m
最大スパン：5.460m
耐火・準耐火：その他建築物

■主要仕上

外部仕上
（屋根）カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm 横葺き
（外壁）デラクリート t=12.5mm ショリパット塗仕上
（開口部）アルミサッシ
（その他）腰壁：スギ板 t=12mm 縦張り オスモカラー仕上
濡れ縁：木材・プラスチック再生複合材 t=30mm
内部仕上
（床）複合フローリング t=13.5mm
（壁）石膏ボード t=12.5mm ビニルクロス貼り
（天井）石膏ボード t=9.5mm ビニルクロス貼り
（その他）天井一部：準不燃スギ板 t=15mm

●木材使用について

構造材（柱等）、造作材（窓枠等）、内装材（天井）として秋田スギを使用。

構造材（梁等）としてベイマツを使用。

構造材（土台）としてベイツガを使用。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	43.0 m ³	43.0 m ³	
マツ	12.7 m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	2.5 m ³	m ³	
計	58.2 m ³	43.0 m ³	

●設計における工夫点等について

施設利用者が使いやすく、開放感がありつつもプライベートな空間を目指しました。

水回りは施設の方と何度も協議を重ね、安全で気持ちよく使用できる寸法を考えました。テイルームは南側に大開口と広縁を設け、庭を囲むように塀を巡らせることで、明るくプライベートな空間を実現できたと考えております。



ぬれ縁



構造部

■事業概要

事業内容：木造施設整備

発注者：株式会社 池田

設計者：(株)ブルーフあいアーキテツ
一級建築事務所PIA

施工者：村岡建設工業株式会社

：

：

木材供給：(スギ一般材) (株)若林木材

(原木供給) 仙北西森林組合

事業名：秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業

工期：平成24年7月～平成24年10月

設計費：3,150千円

建設費：(建設) 49,029千円

：(その他) 19,011千円

：

：(合計) 68,040千円

1m²当たり建設費：201千円

⑤ いきいきASOKO

施設概要

事業主体：社会福祉法人 中央会

施設名称：いきいきASOKO

所在地：由利本荘市大鍬町160番1号

施設用途：デイサービス併設ショートステイ

用途地域：第1種低層住宅地域、第1種住居地域

防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

当施設は1階が短期入所生活介護施設（ショートステイ）と認知症通所介護施設（デイサービス）を併設した高齢者介護施設で、2階は事業者の社会貢献事業として地域交流サロン、ボランティア室を設け、地域の高齢者に無料開放しています。中庭には足湯を設けて、利用者間の交流を図っており、また、ショートステイの食堂にはペレットストーブが設置されています。

●配置計画について

建設地は由利本荘市内の閑静な住宅街の中にあるため、規模の大きな建物をどうしたら違和感なく溶け込ませることができるかという点に気を配りました。

また、法的な制約として、外部への木材の使用について制約がありましたが、木材を感じさせる外観となるように留意しました。



■建物情報

階数	数	地上2階
構造	造	木造軸組工法
敷地面積	積	1,223 m ²
建築面積	積	932 m ²
延床面積	積	1,194 m ²
最高高さ	さ	7.4 m
最高軒高	高	9.6 m
耐火・準耐火		準耐火構造

■主要仕上

外部仕上	
(屋根)	ガルバリウム鋼板T0.35 防水工法
(外壁)	防火サイディング
(開口部)	アルミ断熱サッシ
(その他)	回廊床 ウッドブロック t=60mm
内部仕上	
(床)	ビニールタイル、一部スギT15フローリング
(壁)	スギ板T10貼り、一部クロス貼
(天井)	石膏ボードT12.5 塗装
(その他)	

● 木材使用について

構造材にスギを使用することで計画しました。構造は在来軸組工法ですが大きな空間を必要とする部屋もあり、柱、梁のサイズが大きくなる箇所はスギの集成材で計画。集成材が目に入らぬ箇所もありますが違和感なく木造建築らしい表現になっています。腰壁や床の仕上材にもスギを使用し、柔らかい暖かな空間となっております。

木材納入製材所の誠意ある対応により、良質で均質な木材が揃ったことでより良い空間に仕上がりました。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	155.37 m ³	155.37 m ³	
集成材(スギ)	24.66 m ³	24.66 m ³	
ベイツガ	6.39 m ³	m ³	土台
計	186.42 m ³	180.03 m ³	



● 設計における工夫点等について

介護の必要な老人が日常生活をおくる場なので住宅の延長にある建物を目指しました。しかし機能として住宅にはない大きな空間が必要であるため、そのギャップをいかに少なくし、心安らぐ部屋を提供できるかを考え、スギをキーポイントに設計しました。

空間全体の中でどの位のバランスで用いれば落ち着きが出るかを考え、柱、梁、スギ張りの壁の位置を計画しました。

● その他

消防設備としてスプリンクラー設備を設置したことにより、建築の内装の制限がなくなり、部屋の仕上材として制約なく木材を使用できました。

■ 事業概要

事業内容：木造公共建築物等の整備

発注者：社会福祉法人 中央会

設計者：芦野建築設計室

施工者：山科建設株式会社

木材供給：有限会社 佐東製材

事業名：木材産業振興臨時対策事業木造公共施設等整備

工期：平成25年9月～平成26年3月

設計費：8,240千円

建設費：221,550千円

1m²当たり建設費：186千円

⑥ ショートステイ・デイサービスセンター たんぽぽプラザ

施設概要

事業主体：有限会社たんぽぽプラザ
施設名称：ショートステイ・デイサービスセンター
たんぽぽプラザ
所在地：由利本荘市岩城赤平宇長ヶ沢18番地1

施設用途：福祉施設
用途地域：—
防火地域：—

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

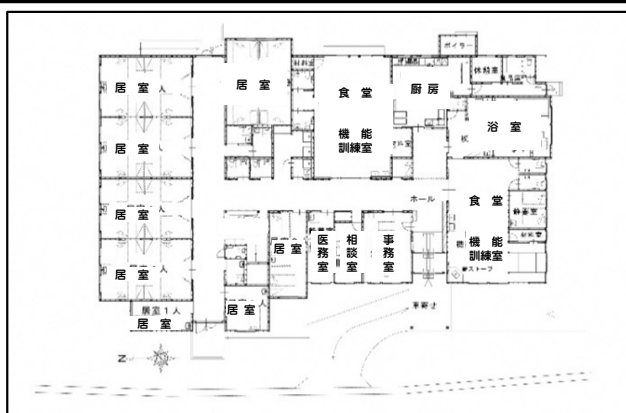
要介護認定等を受けた高齢者が利用できる、ショートステイ24名、デイサービス20名の定員からなる2事業所を併設しています。両施設とも在宅で暮らす方を対象としたサービスであることから、なるべく自宅に近い雰囲気や考慮したこと、地域性を考え周りの景観にあった落ち着いた外観を計画しました。ショートステイでは食堂の共有スペースと居室の距離をとることで、生活のめりはりをつけること、生活動作を多くつくことで高齢者の元気な生活を支援するところを目標としています。デイサービスの食堂機能訓練室には薪ストーブが設置され、暖をとりながらおしゃべりができる暖かくちょうどいい空間がつけられています。

●配置計画について

敷地が不成形で間口が広いので、西側全面道路に横幅が広い配置としています。

玄関を道路側に設置して入居者の利便性を図りながら、車で通る人にアピールする配置計画をしました。

ショートステイとデイサービスのスペースをしっかりと分けることで利用者の方のプライバシーにも考慮しています。



■建物情報

階数：平屋建て
構造：木造（軸組工法）
小屋組方式：集成材接合金物工法
敷地面積：1,684 m²
建築面積：894 m²
延床面積：879 m²
最高高さ：6.5 m
最高軒高：m
最大スパン：6.98 m
耐火・準耐火：準耐火

■主要仕上

外部仕上
（屋根）長尺カラー鉄板 瓦葺き
（外壁）防火サイディング張り（塗装品）
（開口部）カラーアルミサッシ
（その他）
内部仕上
（床）フローリングボード張り
（壁）ビニールクロス貼り一部杉板張り
（天井）ビニールクロス張り
（その他）

●木材使用について

木には心が落ち着く温もりがあり、視覚的な癒し効果があります。

木造軸組工法で設計し、構造材等に県産スギ材を使用しております。また、フローリングや造作・腰板等に木材を多用したことから、施設入口から木の温もりが感じられ、他の施設との差別化を図っています。

道路面にある玄関の目隠しのための大きな格子を設置し、木材利用をPRしています。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	164 m ³	164 m ³	
マツ	42 m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	m ³	m ³	
計	206 m ³	164 m ³	

【施工中の状況】



●設計における工夫点等について

機能を集約した計画のため、中廊下形式の平面になりましたが、廊下部分にハイサイドライトを設けて、明るい空間をつくることで全面に使用されたフローリングと造作された木目の美しさがわかる設計となっています。

一般住宅を意識した天井高により、家庭的な雰囲気を感じさせる空間構成と効率良い空調の使用による省エネ化を図っています。



食堂・機能訓練室



食堂・機能訓練室



廊下

■事業概要

事業内容：木造公共施設等整備事業
 発注者：有限会社たんぼぼプラザ
 設計者：株式会社小畑設計事務所
 施工者：（建設）大森建設株式会社
 ：（電気）本荘電気工業株式会社
 ：（機械）羽後設備株式会社
 木材供給：（スギ集成材）昭和木材(株) ほか
 （スギ一般材）昭和木材(株) ほか
 （フローリング）藤島林産(株) ほか
 （その他）(株)佐藤工務店 ほか
 （原木供給）(有)加藤林業

事業名：木造公共施設等整備事業
 工期：平成27年6月～平成27年9月
 設計費：4,800千円
 建設費：（建設）124,023千円
 ：（電気）20,859千円
 ：（機械）44,918千円
 ：（合計）189,800千円
 1m²当たり建設費：216千円

⑦ ウッディいのおか

施設概要

事業主体：社会福祉法人慈泉会

施設名称：ウッディいのおか

所在地：横手市猪岡字中猪岡154番地

施設用途：生活介護事業所

用途地域：一

防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

知的障害者の通所介護と就労継続支援を行っており、利用者の社会生活の支援・障害福祉サービスの事業所としての機能を持ち、地域福祉の拠点となっています。

建物は県産材である秋田スギをふんだんに使用し、入居者の生活環境向上と建物周囲との調和を図っています。また、訪問される方々にも秋田スギの特徴である美しい木目や香り、視覚による癒しの効果や温もりと柔らかさを肌で感じ取れる施設となっています。

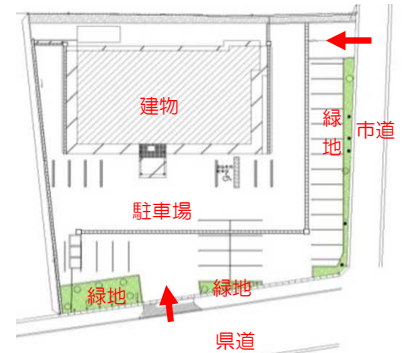
●配置計画について

敷地周囲は、数戸の住宅と田園が広がる自然環境豊かな場所にあります。

全面道路は、横手市街と旧雄物川町を結ぶ県道道路沿いにあり、目に付きやすい場所にあります。

建物は、周囲4m以上確保し、冬期間の除排雪と設備メンテナンスをしやすい配置としており、全面道路側は利用者の駐車スペースを確保し、また地域の交流の場としての活用も可能です。

県道沿いには植栽を配置し、周囲の景観に配慮しています。



■建物情報

階数	数	地上2階
構造	造	木造
小屋組方式	式	軸組工法
敷地面積	積	2,243.25 m ²
建築面積	積	518.69 m ²
延床面積	積	617.85 m ²
最高高さ	さ	10.83 m
最高軒高	高	7.64 m
最大スパン	ン	6.37 m
耐火・準耐火	火	：その他建築物

■主要仕上

外部仕上	
(屋根)	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4mm (瓦葺、横葺)
(外壁)	珪藻漆喰塗り 秋田スギ下見板張り
(開口部)	アルミ樹脂複合サッシ
(その他)	ガラスロック耐力壁 軸組標準仕様
内部仕上	
(床)	天然木複合フローリング
(壁)	秋田杉腰板張り t=12自然塗料塗、クロス張り、構造材表し
(天井)	秋田杉構造材表し、障子張り、ビニルクロス張、構造材表し
(その他)	

●木材使用について

柱や梁等の構造材のほか、下地材、内装材及び外装材にもふんだんに木材を使用しており、使用した木材全体の8割以上が県内産スギです。

県産材であるスギ材等を活用し、地域のシンボルとなる建物として、木造建築物の良さを地域内外にアピールする施設となっています。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	148 m ³	148 m ³	
マツ	18 m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	12 m ³	2. m ³	
計	178 m ³	150 m ³	

●設計における工夫点等について

建物は屋根の軒の出を深くし壁面への直射日光を遮光させることで、壁面温度を上げない様になっています。

大屋根は小屋裏空間を大きくし、小屋裏の換気をさせることで屋根からの直接的な熱の伝わりを防ぎます。

腰壁には県産材である秋田スギを使用して、木目の美しさや視覚的な安らぎを与えています。

冬期間は、床下の換気が困難になることから、床下に竹炭を入れることで、調湿効果による木造躯体の保護をしています。



活動室



生活訓練室



小屋裏



床下

●その他

建物計画について、建物中心にホールを配置し、各部屋への動線を単純化しています。

また、建物の形状を生かし吹抜け空間を設け、構造体の木組を表し2階からも見られるようにした。



■事業概要

事業内容：木造公共施設等整備

発注者：社会福祉法人慈泉会

設計者：株式会社小野建築研究所

施工者：創和建设株式会社

事業名：木材産業振興臨時対策事業

工期：平成27年6月～平成27年12月

設計費：7,884千円

建設費：(建設) 101,832千円

：(電気) 15,311千円

：(機械) 33,811千円

：(合計) 158,838千円

1m²当たり建設費：307千円

木材供給：(スギ集成材) 株式会社高英
 (スギ一般材) 株式会社ウッド・ミル
 (フローリング) 株式会社ノダ
 (原木供給) 仙北西森林組合

トピック3 国内有数の木材産業

① 秋田の木材産業

秋田県は、日本一のスギ植栽面積を持ち、木材産業も基幹産業の一翼を担ってきました。秋田スギを代表とする天然秋田杉は平成24年度末で生産が終了しましたが、その子供達が着実に成長しております。県では、今後もより安心・安全で環境に優しい良質な製品をお使いいただくため、関係業界と一体となって取り組んでいます。すでに県内の合板工場は原材料を北洋材から秋田スギに転換したほか、北欧材を使用している集成材業界もスギへの転換を進めています。



② 秋田県立大学木材高度加工研究所

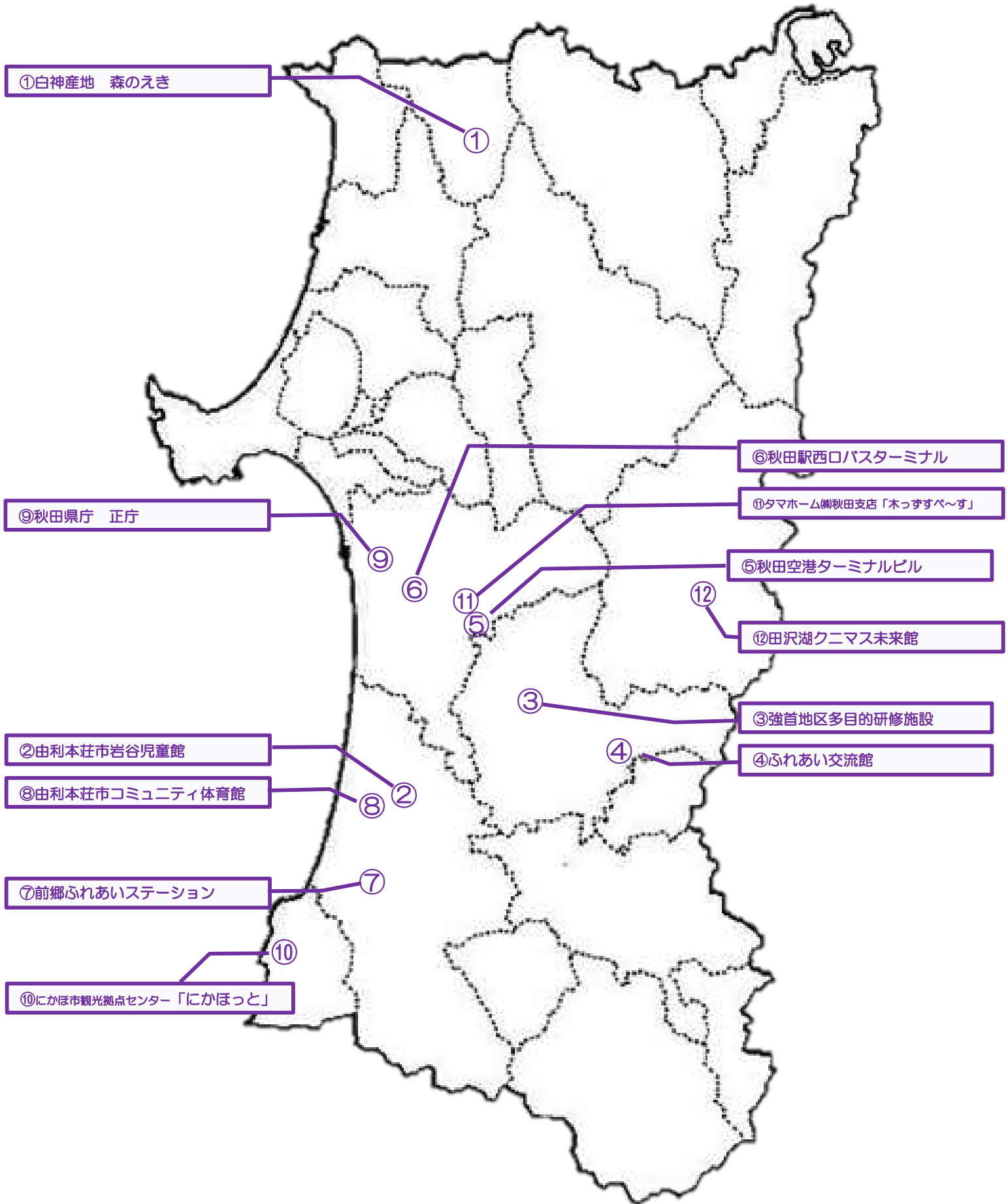
大学に属する機関としては唯一「木材」を冠する専門教育・研究機関であり、「森林資源を活用した持続的な資源循環型社会の形成」という目標のもと、最先端の研究および教育を行っています。

また、併設された(公)秋田県木材加工推進機構と協力しながら、公開講座・夜間講座、地元の教育機関等との連携、地域企業との共同研究、地元自治体等の各種委員会委員への参画等の活動を通して、地域に密着した教育・研究および普及啓蒙活動を行っています。



木造施設事例位置図

■その他施設



① 白神山地 森のえき

施設概要

事業主体：藤里町

施設名称：藤里町観光案内所兼物産販売所

所在地：山本郡藤里町藤琴字里栗38番2号

施設用途：観光案内所兼物産販売所

用途地域：一

防火地域：一

【外観写真】

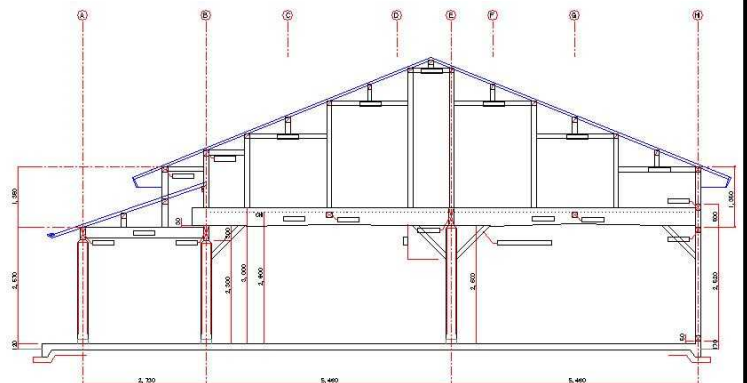


●施設の特徴、内容について

町に訪れる観光客への観光案内窓口として利用するほか、施設内に物産販売コーナー及び食堂コーナー、休憩コーナーを設置し多くの人に利用してもらい幅広い活用が可能である。

●配置計画について

当該地には、白神山地世界遺産センター（藤里館）があり、白神山地へ訪れる人々の離合集散の場となっている。周辺には観光案内をしているところがない状態であることから、観光案内所兼物産販売所が整備された。



■建物情報

階数：地上1階
構造：木造
小屋組方式：和組式
敷地面積：1,065 m²
建築面積：273 m²
延床面積：228 m²
最高高さ：6.7 m
最高軒高：3.5 m
最大スパン：5.4 m
耐火・準耐火：その他建築物

■主要仕上

外部仕上
（屋根）長尺ガリバリウム鋼板横葺き t=0.35mm
（外壁）杉下見板横張り押縁取付 t=14mm
（開口部）アルミサッシ
（その他）－
内部仕上
（床）フローリングボード張り t=15mm
（床）複合フローリング t=15mm
（壁）ビニルクロス貼り
（天井）ビニルクロス貼り、シフトーン貼り
（その他）杉化粧板縦張り t=12mm

●木材使用について

防腐土台以外の構造に関するすべての木材に地域材を使用している。
(一般構造材、特殊構造材、小割材、造作、化粧材)

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	55.2 m ³	55.2 m ³	
ツガ	1.2 m ³	m ³	
計	56.4 m ³	55.2 m ³	



観光案内所



物産販売所

●設計における工夫点等について

スパンの大きい所に地域材を使用した太鼓梁を使用した。
天井から張り出し、見せることにより利用者へ木材加工技術をPRしている。



●その他

建物の構造に係る木材の99%が地域材を使用している。



■事業概要

事業内容：木造施設整備
発注者：藤里町 商工観光課
設計者：ムトー二級建築設計事務所
施工者：(建設) 石田工務店(一括発注)

木材供給：(スギ一般材) 立石林業株式会社

事業名：木材公共施設等整備事業
工期：平成23年11月～平成24年3月
設計費：3,150千円
建設費：(建設) 35,773千円
 : (電気) 6,607千円
 : (機械) 3,190千円
 : (合計) 45,570千円
1m²当たり建設費：166千円

② 由利本荘市岩谷児童館

施設概要

事業主体：由利本荘市

施設名称：由利本荘市岩谷児童館

所在地：由利本荘市岩谷町字田ノ尻106番1号

施設用途：児童館

用途地域：一

防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

由利本荘市岩谷地区の児童館で、約179m²のアリーナや多目的ホールなどを備える。

秋田スギを使用した、木の香りあふれる木造建築。開口部も多くとられ、開放感のある明るい施設となっている。

児童館機能のほか学童クラブも開設しており、鉄筋コンクリートに囲まれた小学校とは違った暖かみのある木造に触れ合うことで情緒の安定を図っている。

また災害時の緊急用避難所として車椅子用トイレやオストメイト用設備を整えている。



アリーナ

■建物情報

階数：地上1階

構造：木造

敷地面積：2,754.71 m²

建築面積：452.14 m²

延床面積：397.48 m²

最高高さ：9.635 m

最高軒高：6.45 m

耐火・準耐火：その他建築物

■主要仕上

外部仕上

(屋根) 厚0.4遮熱耐摩カラーGL定尺板横葺き

(外壁) 厚1.4窯業系サイディング 腰板杉張り 厚18杉材コーキング

内部仕上

アリーナ

(床) カバフローリング 厚20 二液ウレタンクリアー塗

(壁) 厚20 (W=135) 秋田杉板 本ざね横張り 水性ウレタン塗

(天井) シナ合板目透かし張り

●木材使用について

【使用木材量】

構造材は土台とごく一部の柱、梁以外は全て杉材（集成材含む）を使用。外壁には腰壁部分が杉張りになっており、木造であることを意識させる落ち着いた外観になっている。内装も、腰壁や、天井部にスギ材を多用し、木質を強調している。

使用されているスギ材はすべて県産材。

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	92.76 m ³	92.76 m ³	
マツ	12.20 m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	3.00 m ³	m ³	
計	m ³	m ³	



多目的ホール



学習室

●設計における工夫点等について

開口部を多くとり明るさと開放感を確保し、また、耐火塗料等で工夫しながら内装にもスギ材をふんだんに使用した。



玄関・廊下

■事業概要

事業内容：木造施設整備

発注者：由利本荘市

設計者：村上建築設計事務所

施工者：高原建設株式会社

：

：

木材供給：（株）若林木材・（有）佐東木材

（原木供給） 秋田県森林組合連合会

大館北秋田森林組合

事業名：木造公共施設等整備事業

工期：平成22年10月～平成23年3月

設計費：5,471 千円

建設費：（建築）61,955 千円

：（その他）22,465 千円

：

：（合計）84,420 千円

1m²当たり建設費：212 千円

：

③ 強首地区多目的研修施設

施設概要

事業主体：西仙北町

施設名称：強首地区多目的研修施設

所在地：大仙市強首字上野台1番

施設用途：研修施設

用途地域：一

防火地域：一

【外観写真】



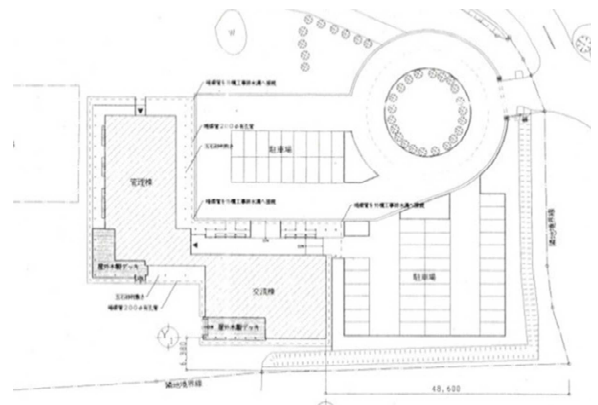
● 施設の特徴、内容について

本計画の強首多目的研修施設は、本県の秋田スギ・県産材の促進を図るため計画された。外壁・腰壁はスギの板材を利用し木の温かみと木立の中に一体化した温かみのある外部空間を演出しました。

また、これからの高齢化社会に対応すべく、玄関は段差を無くし靴を履く際には腰を下ろしながらできるよう、人に優しく木の温もりが感じられる施設としました。

● 配置計画について

敷地周辺の樹木に囲まれるように駐車場を中心にし字型の配置計画としました。周辺の樹木が見えるようホールに大きな開口を設けて、外部の「木」と内部の「木」を連携する空間構成としました。また、建物外周に外部と内部をつなげる雁木と呼ばれるテラスを設けることにより、冬期間の雪が建物に直接当たらないよう先人達の工夫を取り入れました。



■ 建物情報

階数：地上1階
構造：木造
小屋組方式：立体トラス
敷地面積：12,241 m²
建築面積：1,090 m²
延床面積：749 m²
最高高さ：9.3 m
最高軒高：9.0 m
最大スパン：12.0 m
耐火・準耐火：準耐火構造

■ 主要仕上

外部仕上
（屋根）フッ素樹脂鋼板(JIS-G3312) t=0.40mm
（外壁）スギ板 t=15mm+木材保護塗料、一部防火サイディング 12mm
（開口部）アルミサッシ（ペアガラス）
（その他）外部デッキ ジャラ材 t=35mm
内部仕上
（床）廊下 積層フローリングボード t=12mm、交流室t=18mm
（壁）腰板以外 石膏ボード t=12.5mm +ビニールクロス
（天井）石膏ボード t=9.5mm、化粧石膏ボード t=9.5mm
（その他）廊下・交流室腰板：杉板 t=15mm

●木材使用について

円筒LVL柱に700φと350φの半割を採用し化粧材として利用した。スギの丸太に見せるため床から天井まで通しとしました。

大スパン部は集成材180×330を使用し、金属棒で緊張を掛けることにより、トラス構造の安定した強度の構成としました。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	293 m ³	293 m ³	
マツ	m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	330 m ³	m ³	
計	623 m ³	293 m ³	



(交流室)



(廊下)

●設計における工夫点等について

廊下には上部のトップライトから自然光を取り入れ木格子越しに光と木のコントラストを演出しました。空間自体が大スパンが多いため交流ホールは集成材を活用し、一般棟はトラス構造を採用、「木」本来の美しい構造体を表すことで変化のある内部空間としました。



(玄関化粧材 円筒LVL柱)

●その他

交流室は軽スポーツ等が可能とするため天井高を確保し、大断面集成材を登り梁とし、タイロッドで緊張を掛けることにより大空間の構成を可能にしました。木材と金属の異種材料を使用することにより、均一に配列された構造美をもった空間となっています。



(玄関側 屋外木製デッキ)



(和室側 木製ベンチ)

(化粧材 半円筒LVL柱)

■事業概要

事業内容：モデル的木造公共施設整備

事業名：秋田の木・利用推進木造公共施設等整備事業

発注者：西仙北町

工期：平成14年6月～平成14年12月

設計者：株式会社 コスモス設計

設計費：8,610千円

施工者：株式会社 佐賢佐藤健業

建設費：(建設) 198,221千円

木材供給：(スギ構造材) 三光製材株式会社

1m²当たり建設費：265千円

(構造用合板) 新秋木工業株式会社

(フローリング) 矢島木材乾燥株式会社 ほか

(その他) 三洋工業 ほか

(原木供給) 秋田県森林組合連合会

④ ふれあい交流館

施設概要

事業主体：太田町（大仙市）

施設名称：ふれあい交流館

所在地：大仙市太田町惣行小坂47番

施設用途：屋内交流施設（体育館）

用途地域：—

防火地域：—

【外観写真】



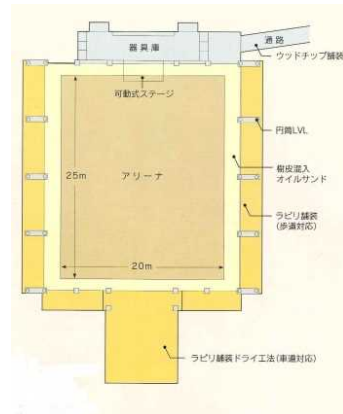
●施設の特徴、内容について

本施設は、秋田スギを中心とした木造による骨組みが見えるシンボリックな屋内交流施設で、地域材による木造建築物の普及を図ることを目的に建築されました。構造材には、円筒LVLの柱を化粧材として利用し、梁に木造の立体的構造が美しいスギ大断面集成材を、床面にはスギ樹皮混入オイルサンドやウッドチップ塗装、人工芝を施しています。

雨天時のグラウンド・ゴルフや交流会、休憩所として、天候に左右されることなく利用できます。

●配置計画について

本施設の建設地一帯は、太田国民休養地に指定されており、奥羽山荘などの宿泊交流施設、動物舎や体験農園、物産館、グラウンド・ゴルフ場などがあり、これらと連携し、表彰式や休憩所、雨天時のグラウンド・ゴルフやゲートボールに利用できるようにしています。



■建物情報

階数：地上1階
構造：木造平屋建（構造材・大断面集成材）

小屋組方式：集成材接合金物工法

敷地面積：3,311.37㎡

建築面積：899.47㎡

延床面積：736.00㎡

最高高さ：11.1m

最高軒高：5.8m

最大スパン：

耐火・準耐火：その他建築物

■主要仕上

外部仕上

（屋根）長尺カラー鉄板

（外壁）防火サイディング+人ロシックイ 腰壁：杉板+木材保護塗料塗装

（開口部）アルミサッシ、折り畳み式シャッター（その他）

内部仕上

（床）一部樹皮混入オイルサンド、人工芝

（壁）珪酸カルシウム板

（天井）構造材表し+木材保護塗料

（その他）

●木材使用について

地域材による木材建築物の普及を図るため、主に秋田スギの間伐材を使用しました。

集成材のみの使用ではコスト高となるため、鉄骨との混構造としていますが、柱部分は鉄骨材を秋田県立大学で開発した円筒LVLで囲い、鉄骨でありながら、木材の柱のようになっています。

柱以外はすべて木造とし、梁は大断面集成材を用い、床には樹皮混入オイルサンド（砂と樹皮の混合物）としています。



切妻型の天井（秋田スギの間伐材を利用した大断面集成材）

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	165 m ³	165 m ³	
マツ	m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	m ³	m ³	
計	165 m ³	165 m ³	



解放感のあるサッシと円筒LVL（木造風柱）

●設計における工夫点等について

骨組みが見え、木材の素晴らしさや木の持つ温かみを感じられるようにしました。

また、晴天時には、シャッターやサッシを開け、オープン使用が可能とし、屋外と一体の空間となるようにしました。



■事業概要

事業内容：秋田の木・利用促進木造公共施設整備
 発注者：太田町
 設計者：株式会社 コスモス設計
 施工者：荒屋舗建設・高禮建設特定工事共同企業体
 木材供給：（スギ集成材）秋田グルーラム株式会社
 （スギ一般材）北日本索道株式会社
 （円筒LVL）有限会社渡辺事業所
 （原木供給）阿部林産商事、秋田木材株式会社

事業名：木材産業経営革新公共施設整備事業
 工期：平成14年5月～12月
 設計費：5,859千円
 建設費：113,808千円
 1m²当たり建設費：154,630円

⑤ 秋田空港ターミナルビル（内装木質化）

施設概要

事業主体：秋田空港ターミナルビル株式会社
 施設名称：秋田空港ターミナルビル
 所在地：秋田市雄和椿川字山籠49番

施設用途：空港施設
 用途地域：—
 防火地域：—

秋田空港国内線旅客ターミナルビルの2階フロアを、平成24年11月から平成25年6月までの約8か月を掛けリニューアル工事を実施いたしました。

リニューアルにあたり、木の「ぬくもり、あたたかみ、親しみやすさ」と自然の心地よさを感じて頂けるよう秋田スギをふんだんに使用いたしました。



●内装用木材使用について（1）天然秋田杉（出発ロビー中央付近）



①国有林内の土場（長さ4.1m）
 樹 齢：約190年
 重 量：1.7t
 産地等：2012年10月
 秋田市仁別地区内の
 国有林で伐採



②人工乾燥の状況



③出発ロビー設置中（長さ3.8m）
 上端 直径 7.8cm
 下端 直径 9.8cm

●内装用木材使用について（2）無垢板レンガ貼（出発ロビー 柱）



秋田スギ源平材（赤みと白太が貼方向上下に配色された板材を厳選）を無垢材厚板の重厚感を生かすためレンガ貼りとしています。

上品な淡紅色の赤みと白太がマーブル調に重なり合い、秋田スギの特徴である赤白の発色の良さを視覚的に生かしたデザインとしています。

なお、使用した木材は準不燃加工を施しています。

●内装用木材使用について（3）スギ材化粧壁（保安検査場 壁）



アルミ角波スパンドレルの凹部に長さ・見込み寸法がそれぞれ違うスギ角材(小径)をランダムに配置しはめ込んでいます。

写真のようにスギ材を配置したことにより、『陰影が生まれ』見る方向やライティングの向きによって秋田スギ材が様々に豊かな表情を見せます。

なお、使用した木材は準不燃加工を施しています。

●内装用木材使用について（4）フィルムガラスサンド（ロイヤルスカイ壁面）



杉を突板加工（厚さ0.23mm）し、クリアガラス（厚さ8mm）でサンドしています。

天井高が3.6mありますので、ガラスを押すとたわみますので、リップを設置し補強しています。

また、突板には補強のためにフィルムを貼り、意匠性を高めるために職人の手により、プラスト処理が施されています。

●内装用木材使用について（5）透光フィルム（こもれびカフェ 天井照明）



秋田スギ突板(厚さ0.23mm)を塩ビフィルムでラミネート加工したものを、六角形に組上げた秋田スギ枠材にはめ込み照明としています。

スギ突板裏面に様々な緑の濃淡を付けたフィルムを施し光を透過させることにより、秋田の緑豊かな森の中にいるような『木漏れ日』空間を演出しています。

●内装用木材使用について（6）アジロ編み（出発ロビーなど）



○出発ロビー壁面



○レストラン等のテーブル



○ロイヤルスカイテーブル



正式名称は「アルマジロ」と言い、ツキ板編み込み化粧板とも言います。厳選した天然木の化粧単板を手作業で編み、編み方には矢羽根・市松・亀甲などたくさんの種類があります。



■事業概要

事業内容：内装木質化整備

事業名：木の国あきた拠点整備事業（県単独事業）

発注者：秋田空港ターミナルビル株式会社

工期：平成24年11月～平成25年7月

設計者：サキガケアドバ・渡辺佐文建築設計事務所

建設費：（内装のみ）62,027千円

施工者：中田・沢木特定建設工事共同企業体

県負担金：50,000千円

木材供給：株式会社 丸松銘木店ほか

（原木供給）秋田森林管理局ほか

◎ 詳細情報は、下記を参照してください。



⑥ 秋田駅西口バスターミナル

施設概要：交通機関

事業主体：秋田中央交通（株）

施設名称：秋田駅西口バスターミナル

所在地：秋田市中通二丁目7番地

施設用途：バス待合所

用途地域：都市計画区域内 市街化区域
バス通路は道路

防火地域：準防火地域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

デザインイメージは、秋田駅の玄関口に相応しい秋田スギによるおもてなし空間を作ること。

シンプルながらも柱や梁、垂木及び壁面格子を連続させることで、優しく、しかもインパクトのある秋田スギの空間を創出。また、組子細工を壁面に設置し「秋田の祭り」を表現している。

照明には、優しい秋田スギの素材とよくマッチする白熱電球のようなあたたかみのあるLED光源を採用している。裸電球が連続しながら、懐かしく温かい雰囲気醸し出している。



■建物情報

階数：平屋建て
構造：木造（門型構造）
小屋組方式：木造軸組工法
敷地面積：6,112.55 m²
建築面積：277.83 m²
延床面積：277.83 m²
最高高さ：4.25 m
最高軒高：4.10 m
最大スパン：1.82 m
耐火・準耐火：その他建築物

■主要仕上

外部仕上
（屋根）ガルバリウム鋼板
（外壁）スギ板本実羽目板縦貼り t=15
（開口部）スチールサッシ

内部仕上（案内所）
（床）スギフローリング t=18
（壁）スギ板本実羽目板縦貼り
（天井）石膏ボード t=9.5 EP塗装

●木材使用について

秋田スギの無垢材を使用したバスシェルトーは、手に触れることも多い環境であることから、防腐・防虫性に加えて安全性が要求される。

杉の優しい風合いや温もりを損なうことなく、経年変化によるスギ独特の赤みを帯びてくる美しさも妨げることのない加工方法（モックル処理）を採用している。

●木材使用量

スギ 98m³



●設計における工夫点等について

木造で無理のない構造とし、門型構造とすることで、動線と風除室を確保しやすくしている。

木構造による重さをできるだけ軽減し軽快なイメージとするため、支柱地際、梁、桁、ジョイント部に金属による補強を行った。

屋根はシンプルな片流れとするが、落雪を防ぐため緩い勾配とし、耐雪構造とした。

風雨対策のため、これまで1箇所になかった風除室を4箇所に増設し、また、ベンチの背面の20箇所を中間梁までガラスで塞いだ。



■事業概要

事業内容：木造公共施設整備

発注者：秋田中央交通（株）

設計・監理：小野寺康都市設計事務所・
間建築研究所設計共同企業体

施工者：中田建設(株)

木材供給：（スギ一般材） 吉田木材(株)
（原木供給） 大館北秋田森林組合

事業名：木の国あきた拠点施設整備事業
工期：平成25年5月～平成25年10月

設計監理費： 8,625千円

建設費：（建築） 119,448千円
：（その他） 24,344千円
：（合計） 143,792千円

1m²当たり建設費：
： 169千円

⑦ 前郷ふれあいステーション

施設概要

事業主体：由利本荘市

施設名称：前郷ふれあいステーション

所在地：由利本荘市前郷字家岸68

施設用途：駅舎

用途地域：一

防火地域：一

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

由利高原鉄道の前郷駅舎。由利本荘市由利地域の中心部にあり、交通の拠点施設として、ユニバーサルデザインにより、すべての利用者に優しい木質空間の提供を重視しました。

直接手で触れてもらいながら木のぬくもりと良さを多くの利用者に知ってもらえる交流と情報の発信基地として活用しています。

ほかに、由利地域の鮎川駅、黒沢駅、西滝沢駅も同時に木造で整備し、木造建築の良さをPRしています。

●配置計画について

公共交通機関の施設として、バリアフリーに配慮して、車イス利用者の利便を図っています。

駅舎となりの自転車置き場や東屋も同時に木造で整備し、一体的な駅前空間を演出しています。



■建物情報

階数：地上1階
構造：木造在来工法
小屋組方式：
敷地面積：— m²
建築面積：187.94m²
延床面積：163.93m²
最高高さ：6.0m
最高軒高：4.5m
最大スパン：
耐火・準耐火：準耐火

■主要仕上

外部仕上
(屋根) カワラ
(外壁) 防火サイディング t=12 腰壁 杉板張り ガードラック塗り
(開口部)
(その他)
内部仕上
(床) ナラフローリングブロック
(壁) スギ板張り
(天井) スギ板張り
(その他)



●木材使用について

スギは全て県産材を使用

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	32 m ³	32 m ³	
マツ	5 m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	1 m ³	m ³	
計	38 m ³	32 m ³	



●設計における工夫点等について

和風建築のイメージを残すために、屋根はカワラ葺きとし、外壁腰壁は押縁スギ板張りとしています。

また、軒天についてもスギ板張りとしています。



■事業概要

事業内容：木造施設整備

発注者：由利本荘市

設計者：ACC建築設計企画

施工者：(有)池田建設

木材供給：(有)池田建設

原木供給 本荘由利森林組合

事業名：森林・林業・木材産業交付金

工期：平成15年9月～平成15年12月

建設費：34,870千円

1m²あたり：248千円
建設費

⑧ 由利本荘市コミュニティ体育館

施設概要

事業主体：秋田県由利本荘市
施設名称：由利本荘市コミュニティ体育館
所在地：由利本荘市美倉町30番地

施設用途：体育館
用途地域：商業地域
防火地域：準防火地域

【外観パース】



●施設の特徴、内容について

旧勤労青少年ホーム体育室は、昭和46年竣工以来、40年間にわたり子どもから高齢者までの各層の利用者に親しまれてきた施設であり、年間約2万人の方々にご利用されてきました。

耐震診断の結果、耐震補強工事が必要との判定が出たため、木材公共施設整備事業を活用し、本市の中心市街地における重要なコミュニティ体育施設として新築しました。木造建築の特徴である、人にやさしい、木のぬくもりのある施設として、市民の健康づくり、コミュニティづくりに多いに活用していただき、生涯スポーツの推進と地域の活性化につながることを期待しております。

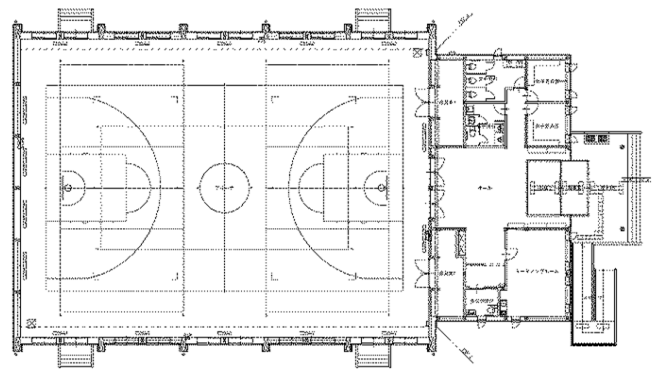
●配置計画について

既設体育室と同規模程度の面積とし、

- ・バスケットボール 1面
- ・バレーボールコート 2面
- ・バドミントンコート 2面

を確保できるアリーナとミーティングルーム、ホール、男女トイレ、多目的トイレ、更衣室を配置。

【平面図】



■建物情報

階数：地上1階
構造：木造平屋建て
小屋組方式：集成材接合金物工法
敷地面積：6,522.14㎡
建築面積：1,081.01㎡
延床面積：893.76㎡
最高高さ：11.4m
最高軒高：10.9m
最大スパン：6.0m
耐火・準耐火：準耐火

■主要仕上

外部仕上
(屋根) シート防水 t=1.5mm 断熱材t=50mm
ルーフデッキ75t=1.0mm
(外壁) 押出成形セメント板t=60mm
(開口部) アルミサッシ
内部仕上
(床) 複合フローリング t=18mm
(壁) 難燃しな合板 t=12mm 腰杉板t=12mm
(天井) デッキ裏吹付用軽量塗材t=3mm

● 木材使用について

木材は再生産が可能、地球環境にやさしい材料。集成材を使用することで、大スパン構造が可能となり、広い空間と自然で温もりのある施設が実現できています。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	121.45 m ³	121.45 m ³	
カラマツ	91.1 m ³	m ³	
針葉樹	10.24 m ³	7.86 m ³	
その他	23.04 m ³	14.56 m ³	
計	245.83 m ³	143.87 m ³	



ホール（体育館入口）



アリーナ（正面）



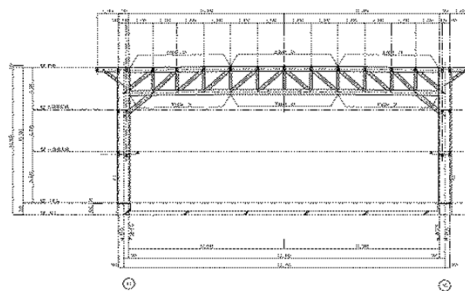
アリーナ（側面）

● 設計における工夫点等について

自然の木の温かさをそのまま表現した2mの背のトラス梁構造。

長手方向には全開口としたサッシで自然光の確保と開放感を確保。

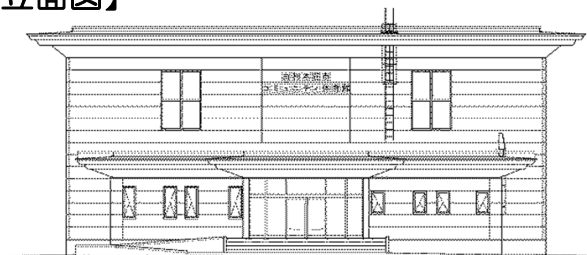
【構造断面図】



● その他

無落雪屋根とし2mの深い庇を設け、外観に陰影と強弱をつけました。

【立面図】



■ 事業概要

事業内容：木造施設整備

発注者：由利本荘市

設計者：(株)工藤設計事務所

施工者：伊藤建友・塚本建設JV

事業名：木材産業振興臨時対策事業

工期：平成25年8月9日～平成26年3月10日

設計費：12,363千円

建設費：290,538千円

1㎡当たり建設費：269千円

木材供給：(スギ集成材) 秋田グルーラム ほか
 (スギ一般材) 佐東製材 ほか
 (フローリング) 矢島木材乾燥株式会社 ほか
 (その他) 秋田プライウッド ほか
 (原木供給) 秋田県森林組合連合会 ほか

⑨ 秋田県庁 正庁（講堂） （内装木質化）

施設概要

事業主体：秋田県

施設名称：秋田県正庁

所在地：秋田県秋田市山王四丁目1番1号

施設用途：式典や会議施設

用途地域：都市計画区内 商業地域

防火地域：準防火

県民栄誉賞や文化功労者表彰式などの式典のほか、市町村長等が出席する重要な会議などに利用される正庁（講堂）が大規模改修により、秋田スギをふんだんに使った温かみのある空間になりました。



●内装用木材使用について（1）（天井・壁）



○「壁」— 秋田スギ角材のデザイン張り

○「天井」— 秋田スギユニットパネル張り
（準不燃材）

改修後の秋田スギによる壁仕上げは、一般的な秋田スギによる単純な板張りとは異なる角材のデザイン張りによって、圧倒的なボリューム感を誇りながらも洗練された表情を醸し出しています。

赤身と白太の色の差が激しいという杉のネガティブな特徴を逆手に、赤身と白太を部位毎に使い分け、統一感を出しています。

壁には、板ではなく角材を使用！



●内装用木材使用について（２）（ステージ袖壁・壁仕上げ）



■ステージ袖壁・壁スギ材列柱仕上げ
 ステージの袖壁は、赤身で統一。
 壁上部は、スギ材を列柱に配置し、入口方向からは白太、ステージ方向からは赤身が見えるように統一感を図っています。

■ステージバック壁（写真右上）
 白太を主体に配置。
 形状と色を適度なばらつきで配置することで、照明による陰影を作り、ステージの表情を変えています。



●内装用木材使用について（３）（建具/扉など）



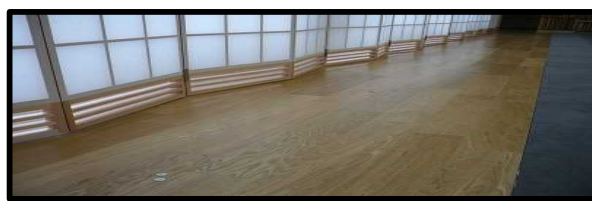
正庁入口
（内側）



正庁入口（外側）



窓際には、屏風折りの障子を配置。
 木をふんだんに使用したことで重くなりがちな雰囲気、明るく厳かで格調高い室内空間としています。



落ち着いたタイルカーペットの一部にはフローリング張りを使用しています。

■事業概要

事業内容：内装木質化整備

発注者：秋田県

設計者：株式会社 草建築創作所

施工者：株式会社 栗野工務店（建築改修）

株式会社又ノタニ（電気設備）
 三和興業株式会社（冷暖房設備）

木材供給：有限会社 佐東製材所

（天井）：山二建築資材 株式会社
 （秋田杉準不燃材が 社）

（木製建具）：株式会社 大栄木工

事業名：木材産業振興臨時対策事業
 （県庁舎維持管理事業）

工期：平成26年7月～平成26年10月

工事費：108,691千円

設計費：3,294千円

補助対象費：57,228千円

県産材使用量：63.4m³

⑩ にかほ市観光拠点センター「にかほっと」

施設概要

事業主体：にかほ市

施設名称：にかほ市観光拠点センター「にかほっと」

所在地：にかほ市象潟町字大塩越36-1

施設用途：物産センター・観光センター

用途地域：準工業地域

防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



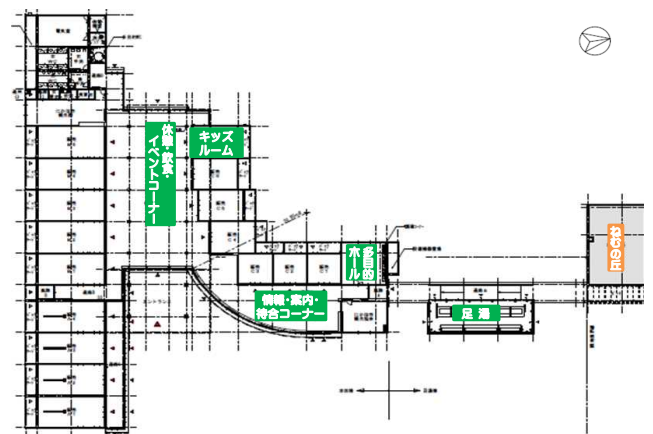
●施設の特徴、内容について

道の駅象潟「ねむの丘」周辺に県内および庄内地域の観光情報の発信と案内、農水産物や特産品の販売、飲食店舗、休憩・飲食コーナーなどの機能を持った施設を整備することにより、道の駅と合わせて魅力の増加を図ると共に、これら施設を拠点として、本荘由利地域の「道の駅」と連携を図り、観光客の周遊による交流人口の拡大や地域経済の活性化を目的に建築されました。

●配置計画について

当施設を道の駅と併設することで、道の駅を補完することも目的としています。

観光拠点センターとして、観光情報案内所、地元産品の販売の他、キッズルームや休憩所、足湯などが完備されています。



■建物情報

階数	： 地上1階
構造	： 木造平屋建、内装木質化
小屋組方式	： 集成材接合金物工法
敷地面積	： 3,477.32m ²
建築面積	： 2,309.46m ²
延床面積	： 2,244.72m ²
最高高さ	： 7.50m
最高軒高	： 6.90m
最大スパン	： 88.62m
耐火・準耐火	： 準耐火

■主要仕上

外部仕上	
(屋根)	木毛セメント下地に防水シート
(外壁)	サイディング

内部仕上	
(床)	木ブロック、ビニール床シート、コンクリート
(壁)	石膏ボード、杉板
(天井)	強化石膏ボード、杉板

●木材使用について

建物に使っている木材は、8割以上が県産木材になっています。

地域産木材をふんだんに使用することにより、明るく温かい空間を作りだし、木の良さを多くの人に知ってもらい、木材建築物の普及を図っています。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	278 m ³	217 m ³	
マツ	75 m ³	75 m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	m ³	m ³	
計	353 m ³	292 m ³	



施設正面



観光・案内・待合コーナー



休憩・飲食・イベントコーナー

●設計における工夫点等について

由利地域の間伐材を使用した床は、まるで木道を歩いているような体験ができます。

天井に近い壁をガラス窓にし、陽の光を入れることで森林浴をイメージしています。



●建設中の状況

木柱を目に入る位置に建てることにより、木材への親近感が湧き、木の良さを知ることができます。



■事業概要

事業内容：にかほ市観光拠点センター整備

発注者：にかほ市観光課

設計者：株式会社草階建築創作所

施工者：（建設）三共株式会社

：（電気）三共株式会社

：（機械）三共株式会社

木材供給：（マツ構造材）秋田グルーラム株式会社

（スギ構造材）秋田グルーラム株式会社

株式会社 若林木材

（床材）株式会社 WOODY山内 ほか

（木製縦格子、天井木製格子、足湯棟構造材）

株式会社 若林木材 ほか

（原木供給）秋田県森林組合連合会

本荘由利森林組合 ほか

事業名：にかほ市観光拠点センター整備事業

工期：平成27年5月～平成28年3月

設計費：25,563千円

建設費：（建設）309,299千円

：（電気）62,708千円

：（機械）56,537千円

：（合計）428,544千円

1m²当たり建設費：186千円

⑪ タマホーム(株)秋田支店 木っずすぺ～す

施設概要

事業主体：タマホーム株式会社秋田支店
施設名称：タマホーム秋田支店 木っずすぺ～す
所在地：秋田市御所野堤台1-1-3

施設用途：子ども用休憩施設
用途地域：—
防火地域：—

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

当施設は、タマホーム（株）秋田支店内に設置された木育スペースです。タマホーム（株）では、国産材にこだわった家づくりをとおして、森林環境や地域社会の貢献を目指しています。

その一環として、支店内のキッズスペースを国産材100%に木質化する取組を行っており、当施設は全国で5箇所目の木育スペースとして設置されました。

訪れた子どもたちが、五感を通じて木に親しみ、木の温かみを感じ、木の良さや国産材利用の意義を学ぶきっかけとなる場となるよう配慮されています。

●配置計画について

キッズスペースでは、家づくりの打合せの間、お子さんに楽しく過ごしていただくために様々な工夫をしています。

ボールプールやボルダリングコーナーでは、体を動かした遊びを行うことができます。また、ミニキッチンや絵本コーナーでは、おままごとをしたり、本を読んだりすることもできます。

子どもたちがいろいろな遊び方ができるように配慮された施設となっています。



ボールプールとボルダリングコーナー

■建物情報

階数：—
構造：—
小屋組方式：—
敷地面積：—
建築面積：—
延床面積：14.90 m²
最高高さ：—
最高軒高：—
最大スパン：—
耐火・準耐火：—

■主要仕上

内 部 仕 上
(床) スギ無垢材フローリング t=30
(壁) CLT t=90
(柱) スギ90角×90角材
(そ の 他) ミニハウス カラマツ集成材、
収納壁 シナ合板

●木材使用について

造り付けのミニハウス等の家具類以外は全て県産のスギ材を使用しています。

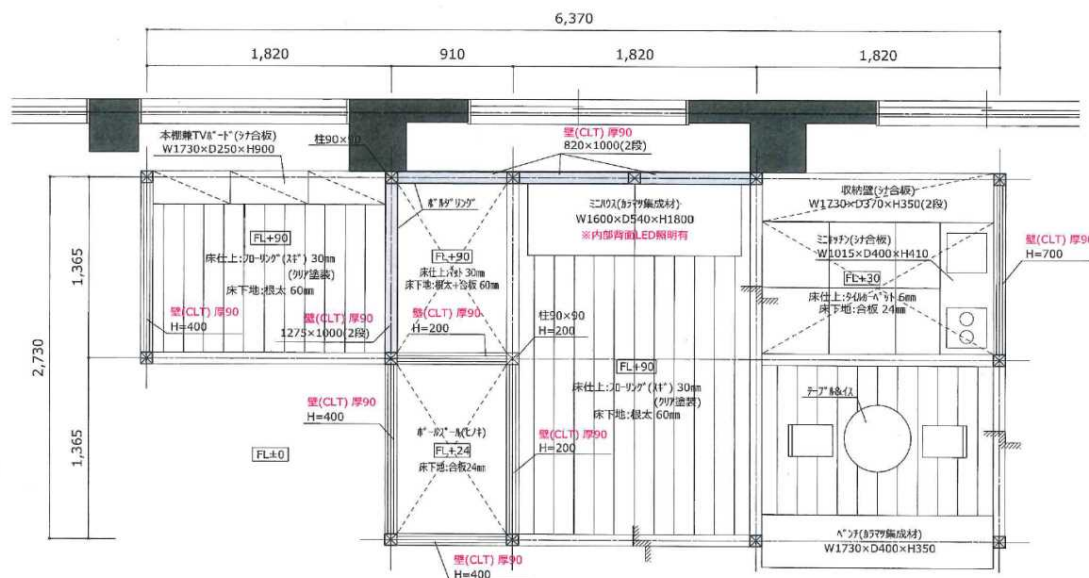
フローリングは厚さ30mmの県産スギを使用し、肌ざわりの良さや衝撃吸収の効果を感じることが出来ます。

新たな木質部材であるCLTの使用例の提示として、壁とボールプールに秋田県産スギCLTを使用しています。

【使用木材量】

樹種	使用量	うち県産木材	備考
スギ	3.03 m ³	3.03 m ³	
マツ	m ³	m ³	
広葉樹	m ³	m ³	
その他	0.34 m ³	m ³	
計	3.37 m ³	3.03 m ³	

【配置計画】



開放的な造りが安心感を与えます



壁部分にCLTを使用しています

■事業概要

事業内容：内装木質化
 発注者：タマホーム株式会社秋田支店
 設計者：タマホーム株式会社秋田支店
 施工者：高橋工務店
 木材供給：（原木供給）秋田県森林組合連合会、
 鹿角森林組合

事業名：新たな木質部材等需要創出先導事業
 工期：平成29年8月～平成29年10月
 工事費：約1,670千円
 1㎡当たり建設費：112千円

⑫ 仙北市田沢湖クニマス未来館

施設概要

事業主体：仙北市
 施設名称：仙北市田沢湖クニマス未来館
 所在地：仙北市田沢湖濁字ヨテコ沢4

施設用途：資料館
 用途地域：都市計画区域外（自然保護区域）
 防火地域：法第22条指定区域

【外観写真】



●施設の特徴、内容について

瑠璃色に輝く田沢湖にせり出た半弧状の木造建築物。田沢湖畔の観光拠点「たつ子茶屋」に隣接し、背後には森林が広がり、散策道や自転車専用道路で森林浴も楽しめます。

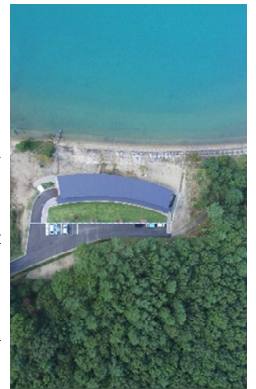
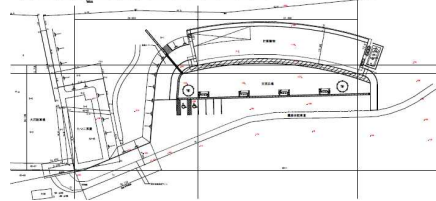
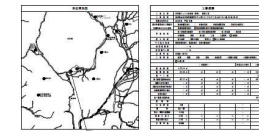
2010年（平成22年）に山梨県西湖で発見された奇跡の魚「クニマス」を水槽展示するほか、田沢湖で漁業が盛んであったころの漁具や、玉川毒水が導入された当時の貴重な文献などを展示しています。

また、中坊京都大学名誉教授監修のパネルや映像は、クニマスの生態や田沢湖の歴史・文化、そして未来への取り組みを詳しく解説しています。

●配置計画について

徒歩1分の大沢駐車場（市管理）には、乗用車や大型バスなど約100台が駐車可能です。

施設は、クニマスの里帰りをイメージし、室内の廊下から田沢湖の湖水が臨めるよう湖面に向かって配置されています。



■建物情報

階数：地上1階、地下1階
 構造：木造
 小屋組方式：集成材接合金物工法
 敷地面積：9,273.44m²
 建築面積：613.58m²
 延床面積：687.27m²
 最高高さ：6.9m
 最高軒高：4.4m
 最大スパン：31.0m
 耐火・準耐火：その他建築物

■主要仕上

外部仕上
 (屋根) ガルバリウム鋼板 t=0.4mm
 (外壁) スズ板 t=15mm 本実縦張、木材保護塗料2回塗
 (開口部) アルミ樹脂製サッシ
 内部仕上
 (床) ナラ複合フローリング t=18mm
 (壁) 腰壁 秋田スギ本実張り t=15mm
 (天井) 梁集成材表し

● 木材使用について

構造材には、県産材のスギ材やスギ集成材を多用したほか、カラマツ集成材も使用しました。

造作材においては外壁、内壁（腰壁）をスギ材としたほか、フローリング基材、屋根野地板に秋田スギ合板を使用しています。

【使用木材量】

樹種		使用量		うち県産木材		備考
ス	ギ	113.7	m ³	113.7	m ³	スギ・スギ集成材
マ	ツ	19.0	m ³	19.0	m ³	カラマツ集成材
広	葉	1.1	m ³	0	m ³	タモ、ナラ等
そ	の	26.8	m ³	26.8	m ³	合板類
	他					
	計	160.6	m ³	159.5	m ³	



廊下：パノラマギャラリー（床、壁等に木材をふんだんに活用）



展示室内：小屋組に集成材を活用

● 設計における工夫点等について

梁を表しにすることで、天井空間を確保しました。

壁部に白地のビニールクロスを使用したため、梁、床材、腰壁などの木部がより際立つ設計となっています。



● その他（特筆される事項）

自然保護区域内に位置することから、周辺環境との調和を重視しました。

湖水量の増減を見込んで建物基礎を高床としました。建物のすぐそばまで湖水が近づく夏期には、遠浅の親水広場が現れます。

また、室外機や浄化槽を来館者の目の届かない位置に配したほか、仙北市景観条例に基づき、建物の色彩にも配慮しています。



■ 事業概要

事業内容：木造施設整備
 発注者：仙北市
 設計者：(株)渡辺佐文建築設計事務所
 施工者：(建設) 寺澤・瀧神特定建設工事共同企業体
 : (展示) (株)乃村工藝社
 : (外構・造成) (株)門脇組、(株)畠山建設工業
 木材供給：(スギ集成材) (協)秋田県北木材センター
 (スギ一般材) 秋田製材(協)、東北木材(株) ほか
 (フローリング) 藤島林産(株)
 (その他) 秋田グルーラム ほか
 (原木供給) (株)門脇木材 ほか

事業名：林業・木材産業構造改革事業
 工期：平成28年4月～平成29年6月
 設計費：16,543 千円
 建設費：(建設) 249,480 千円
 : (展示) 79,002 千円
 : (外構・造成) 40,394 千円
 : (合計) 368,876 千円
 1m²当たり建設費：536 千円

トピック4 木づかい あきた

① 県産木製品の調達

秋田県では平成28年4月に施行した「秋田県木材利用促進条例」に基づき、木材の利用の推進に県全体で取り組むため、様々な施策を総合的に推進しています。

県では、県施設の木造化・木質化を行うほか、施設で使用される備品等についても県産木製品を調達する「木づかい」を行っています。

県産木製品の導入により、木のあたたかみやぬくもりなどの木の良さを感じることができる空間となっています。



平成30年にオープンした秋田港クルーズターミナルでは、秋田スギのほか、クリやサクラなどの広葉樹を使用した家具を設置しています。



パンフレットの架台などの什器や打合せテーブルについても県産木製品のものを使用し、訪れる方へ県産木材のPRを行っています。

森と木の国あきた 木造施設事例集
(平成14年度～平成29年度)

秋田県 農林水産部 林業木材産業課
TEL 018 - 860 - 1915
FAX 018 - 860 - 3828
Eメール rinsan@pref.akita.lg.jp
URL <http://www.pref.akita.lg.jp>